

多治見駅自由通路北階段解体工事

2025年10月

安井建築設計事務所

設計概要（共通）															
1. 一般事項															
工事名称		多治見駅自由通路北階段解体工事				発注者		多治見市長 高木 貴行							
敷地位置	敷地位置	岐阜県多治見市音羽町 1丁目 2 2 7 外 地内				工事概要	工事種別	・新築 ・増築 ・別棟増築 ・増改築 ・改築 ・移転 ・用途変更 ・大規模の修繕 ・大規模の模様替え ☒ 建物解体							
		北緯（ 35度20分8.41秒 ）・東経（ 137度7分14.07秒 ）						駅舎、自由通路							
	用途地域	・第一種低層住専 ・第二種低層住専 ・第一種中高層住専 ・第二種中高層住専 ・第一種住居 ・第二種住居 ・準住居 ・近隣商業 ☒ 商業 ・準工業 ・工業 ・工業専用 ・指定なし					駐車場等	申請部分				台			
								申請以外の部分				台			
								建築物							
	防火地域	・防火 ・準防火 ☒ 法22条の地域 ・指定なし ・2つの地域にわたる場合（防火 m ² 準防火 m ² ）					工作物								
								外構							
	法定建ぺい率	8 0 % （ ）					1) 解体後外構 一式								
法定容積率	4 0 0 % （ ）				造園										
その他の指定 （都市計画）	・美観地区 ・風致地区（国立公園） ☒ 駐車場整備地区 ・土地区画整理事業地区 ☒ 宅地造成等工事規制区域 ・砂防区域 ☒ 地区計画区域 ・特定街区 ・総合設計 ・その他				解体	1) 既存施設（自由通路） 解体一式 2) 外構、電気設備、雨水排水設備 解体一式									
						工期予定									
道路巾員	前面	55.00 m		法42条（1）項（1）号道路		着工		年 月 日		竣工		年 月 日			
壁面線後退	なし														
敷地面積	敷地面積	21,101.51 m ² （ 6,383.21 坪）				形態規制	高度地区	内容：高さ規制							
		2つの地域にわたる場合（ m ² m ² ）						高度利用地区	内容：容積率規制 % 以上						
	申請部分		申請以外の部分		合計		斜線制限		道路斜線・隣地境界斜線・北側斜線						
	3,427.76 m ²		0.00 m ²		3,427.76 m ²			建ぺい率		3,427.76 / 21,101.51 ×100 = 16.24 % ≦許容 80 %					
	4,479.64 m ²		0.00 m ²		4,479.64 m ²		容積率		4,479.64 / 21,101.51 ×100 = 21.23 % ≦許容 400 %						
	延べ面積		延べ面積		延べ面積		延べ面積								
	イ 建物全体		ロ 地階の住宅部分		ハ 自動車庫等の部分		ニ 住宅の部分		諸制度の活用による緩和		☒ あり ・総合設計制度 ・（ ） 緩和の概要（ 特別工業地区 ）				
	4,479.64 m ²		0.00 m ²		4,479.64 m ²		0.00 m ²								
ハ 自動車庫等の部分		ニ 住宅の部分													
4,479.64 m ²		0.00 m ²		4,479.64 m ²		0.00 m ²									
2. 建築物概要（棟別）															
棟 名		多治見駅自由通路北・自由通路階段（4）													
建 物 用 途		自由通路													
工 事 種 別		解体													
構造・規模		鉄骨造 2階建て													
基 礎・杭		柱状地盤改良の上直接基礎													
耐火建築物		☒ 耐火建築物 ・準耐火建築物（イ-1）・準耐火建築物（イ-2） ・準耐火建築物（ロ-1）・準耐火建築物（ロ-2）・その他													
防火対象物		消防法施行令第1の区分（ 1 ）項（ ロ ）													
屋 根		エチレンプロピレンゴム系シート防水、ガルバリウム鋼板立樋葺き													
外 壁		スチールパネル（フッ素樹脂塗装）													
軒 裏		ケイカル板 E P 塗装													
建 築 面 積		183.20 m ²													
延 べ 面 積		183.20 m ²													
各階床面積	階	m ² （ 坪）		階高 m	階 別 用 途										
	2 階	183.20 m ² 55.42 坪		5.00 m	自由通路北										
	1 階	0.00 m ² 0.00 坪		6.64 m	自由通路北										
合 計		m ² （ 坪）													
		183.20 m ² 55.42 坪													
高 さ	最高の高さ	12.64 m													
	最高の軒の高さ	11.64 m													
	前面道路の中心高と基準QLとの関係														
建築設備の種類		☒ 給水	・排水	☒ 電気	・ガス	・換気	・空調	・避雷針	・昇降機	☒ 非常用照明	・非常用エレベーター	・機械排煙	・浄化槽	・	
消防設備の種類		☒ 火災報知設備	・非常警報	・誘導灯	・漏電警報	・屋内消火栓	・スプリンクラー	・連結送水管	・消防用水利	・屋外消火栓	・非常コンセント	・化学消火	・	・	
3. その他（増・改築経歴等）															

4. 附近見取図・案内図

多治見駅自由通路北・自由通路階段（4）
（解体対象建築物）

(2025年版)	<代表設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第270990号 南浦 琢磨 <設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第331902号 奥村 幸生 一級建築士 国土交通大臣登録 第347928号 小田 祐司	多治見駅自由通路北階段解体工事		
		GEN	建築工事	最終版 ****. ** . **
		02	設計概要（共通）	見積版 ****. ** . **
		安井建築設計事務所		最終契約版 ****. ** . **

1. 工事名称

多治見駅自由通路北階段解体工事

2. 工事種別

解体工事

3. 敷地

地名地番岐阜県多治見市音羽町1丁目227外 地内

4. 解体建物の概要

	多治見駅		
区分	自由通路北 自由通路階段（4）		
構造	S造		
階数	2階		
延床面積	183.20㎡		
建築面積	183.20㎡		

5. 工事の範囲

・自由通路北（S造2階建）

・自由通路階段（4）（S造）

・付帯設備解体工事

・外構解体工事

・建築解体工事

・建築解体工事

・電気設備解体工事

・機械設備解体工事（上水共）

・アスファルト舗装撤去工事

・インターロッキングブロック撤去工事

・雨水排水設備撤去工事

一式

一式

一式

一式

一式

一式

一式

B. 特記仕様書(1)

第1章 一般共通事項

1. 適用範囲

(1) 図面、特記仕様書及び現場説明書に記載されている事項以外は下記による
・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
建築物解体工事共通仕様書・同解説
公共建築改修工事標準仕様書（建築、機械設備、電気設備工事編）
公共建築工事標準仕様書（建築、機械設備、電気設備工事編）
・建築工事安全施工技術指針
・建設副産物適正処理推進要綱
・建築工事公衆災害防止対策要綱 建築工事編
(2) 設計図書
① 質問回答書
② 特記仕様書
③ 図面
④ 標準仕様書・改修標準仕様書・解共仕
⑤ 公共規格及びこれに準ずる規格
(3) 項・表・図の記号は、標準仕様書の該当項目・該当表・該当図を示す

（1）図面、特記仕様書及び現場説明書に記載されている事項以外は下記による
・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
建築物解体工事共通仕様書・同解説
公共建築改修工事標準仕様書（建築、機械設備、電気設備工事編）
公共建築工事標準仕様書（建築、機械設備、電気設備工事編）
・建築工事安全施工技術指針
・建設副産物適正処理推進要綱
・建築工事公衆災害防止対策要綱 建築工事編
（2）設計図書の優先順位は、次の順とする
① 質問回答書
② 特記仕様書
③ 図面
④ 標準仕様書・改修標準仕様書・解共仕
⑤ 公共規格及びこれに準ずる規格
（3）項・表・図の記号は、標準仕様書の該当項目・該当表・該当図を示す

2. 特記仕様書

(1) 特記事項の内選択する事項は、○又は■印のついたものを適用する
(2) 「大規模地震対策特別措置法」による警戒宣言が発せられた場合、被害が想定される地域においては受注者は人身の保護及び安全な避難に必要な補強、落下防止等の安全措置を講ずるとともに工事中断の措置をとること。
又この事態が発生した場合は、契約書26条（臨機の措置）によって処理されたものとする。

3. 官公署その他への届出手続き等

(1) 工事委の着手・施工・完成に当たり、関係官公署その他関係機関への必要な手続き等を遅滞なく行うこと。
また、それにかかる経費は本工事とする。
(2) (1)に規定する届出手続き等を行うにあたっては、届出内容について、あらかじめ監督員に報告する。
(3) 関係法令等に基づく官公署その他関係機関の検査においては、その検査に必要な資機材及び労務等を提供する。

4. 工事実績情報の登録

工事実績データの作成・登録（請負金額500万円以上の場合行う）受注時または変更時において、工事実績情報サービス（corins）入力システム（(財)建築情報総合センター）に基づき、受注・変更・完成後10日以内に、訂正時は適宜、登録機関に登録申請しなければならない。
ただし、工事請負金額500万円以上2,500万円未満の工事については、発注、訂正時のみ登録するものとする。また(財)日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」が発注者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は変更時の提出を省略できるものとする。

5. 書類の書式等

本工事の施工に関して提出する書類は、発注者が受注者に提示する「工事施工にかかる提出書類について」に基づき作成する。

6. 実施工程表

(1) 工事の着手に先立ち、実施工程表を作成し、監督員の承諾を受ける。
(2) 実施工程表の内容を変更する必要がある場合は、監督員に報告するとともに、施工等に支障がないような適切な措置を講ずる。
(3) 実施工程表の補足として、週間又は月間工程表、工種別工程表を作成し、監督員に提供する。

7. 施工計画書

総合施工計画書及び次の工程に該当する工事の施工計画書を当該工事の施工に先立ち作成し、監督員に提出する。
○ 解体工事

8. 工事の記録

工事写真 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方」に基づき、正確な写真を撮影する事。
写真（カラー） サイズ（サービス版） 部数（A4ファイル：1部） 撮影機器（・ 光学カメラ ○ デジタルカメラ）

9. 施工管理

工事に先立ち、当該工事に係る立地条件、埋設物等を十分に把握し適切な施工管理体制を確立し、工程・安全・廃棄物処理等の施工を行う。

10. 建設副産物対策等の責任者

次の責任者を選出し、適切な業務を行う。なお、責任者は兼任することができる。
① 建設副産物対策の責任者

11. 電気保安技術者

・ 適用する ○ 適用しない

12. 施工中の安全確保

① 建築基準法、労働安全衛生法、その他関係法令等によるほか、「建設工事公衆災害防止対策要綱」に従うとともに、「建設工事安全施工技術方針」を参考に、常に工事の安全に留意して現場代理人が管理を行い、施工に伴う災害及び事故の防止に努める。
② 工事施工にあたっては、工事箇所並びにその周辺にある地上及び地下の既設構造物、既設配管等に対して、支障をきたさないような施工方法等を定める。ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議する。
③ コンクリート破損片や鉄筋、鉄骨の切断片等の飛散により、第三者及び作業員に危害を与えないよう、解体作業区域を関係者以外の立ち入り禁止区域とし、必要に応じて監視員を置くなどの措置を講ずる。
④ 工事現場内及びその周辺の安全巡視を行い、災害防止に努める。

13. 環境保全等

建築基準法・環境基本法・大気汚染防止法・廃棄物処理法・土壌汚染対策法その他関係法令等によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い、工事の施工の各段階において、騒音・振動・粉塵・臭気及び大気汚染又は水質汚濁等の影響が生じないよう、周辺環境の保全に努める。

14. 施工調査

※施工計画調査
本工事該当部位及び関連部位について既存施設（埋設配管等を含む）について事前調査、情報収集を行う。

＜代表設計者＞
一級建築士 国土交通大臣登録
第270990号 南浦 琢磨

＜設計者＞
一級建築士 国土交通大臣登録
第331902号 奥村 幸生
一級建築士 国土交通大臣登録
第347928号 小田 花司

多治見駅自由通路北階段解体工事

GEN

03

建築工事

解体工事特記仕様書(1) 1:***

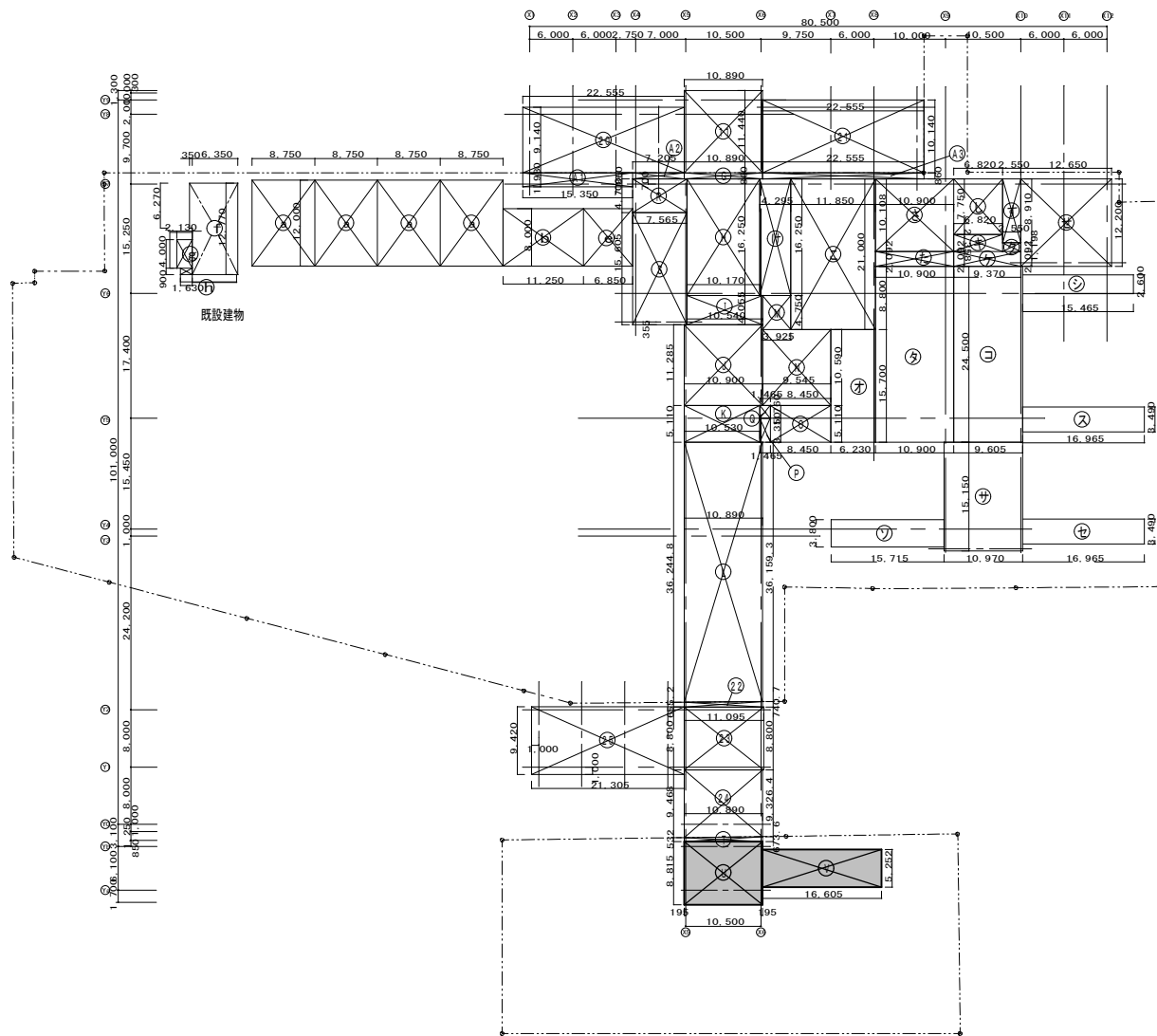
安井建築設計事務所

最終版

最終契約版

20240401

（2025年版）



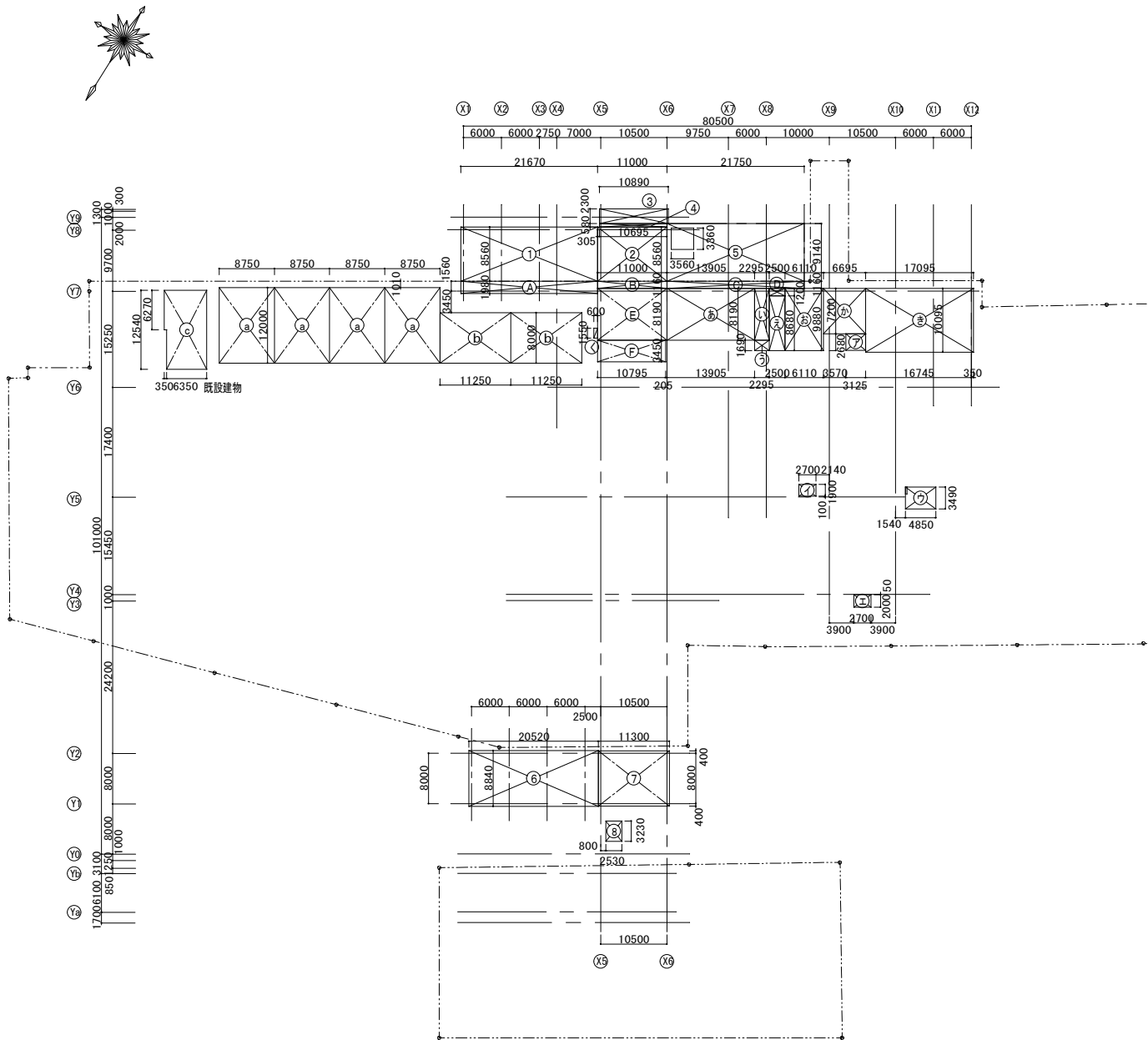
建築面積求積図 S=1 : 1,000

多治見市部分 (確認申請対象部分)				
道路部分	自由通路	南口 (確認申請対象部分)	(m2)	解体後計
①	10.89	* 11.440	= 124.5816	
②	22.555	* 9.14	= 206.1527	
③	22.555	* 10.140	= 228.7077	
小計			= 559.442	559.45
道路部分	自由通路	北口 (確認申請対象部分)	(m2)	解体後計
④	(0.6552 + 0.74066)	* 10.89 / 2	= 7.6005	
⑤	11.095	* 8.800	= 97.6360	
⑥	(9.468 + 9.32645)	* 10.89 / 2	= 102.3358	
⑦	21.305	* 9.420	= 200.6931	
小計			= 408.2654	408.27
合計			967.72	967.72
多治見市部分 (確認申請対象部分)				
自由通路	(m2)			解体後計
⑧	15.35	* 1.98	= 30.3930	30.3930
⑨	7.205	* 0.86	= 6.1963	6.1963
⑩	22.555	* 0.86	= 19.3973	19.3973
⑪	10.89	* 0.86	= 9.3654	9.3654
⑫	10.17	* 16.250	= 165.2625	165.2625
⑬	10.54	* 4.055	= 42.7397	42.7397
⑭	10.90	* 11.285	= 123.0065	123.0065
⑮	10.53	* 5.11	= 53.8083	53.8083
⑯	(36.2448 + 36.15934)	* 10.89 / 2	= 394.2405	394.2405
⑰	7.565	* 4.70	= 35.5555	35.5555
⑱	(0.532 + 0.67355)	* 10.89 / 2	= 6.5642	6.5642
⑲	10.89	* 8.815	= 95.9954	0.0000
⑳	16.605	* 5.252	= 87.2095	0.0000
合計			= 1,069.7341	1,069.74

建築面積合計 (確認申請対象部分) (m2)				解体後計
多治見市部分	道路部分		967.72	967.72
	自由通路		1,069.74	886.53
	小計		2,037.46	1,854.25
JR部分	駅ラチ外コンコース		288.44	288.44
	旅行センター		720.27	720.27
	駅本屋		564.80	564.80
	店舗		1,573.51	1,573.51
	小計		2,643.25	2,460.04
合計 (道路部分を含まない面積合計)			3,610.97	3,427.76
合計 (確認申請対象部分)			3,610.97	3,427.76
建築面積合計 (確認申請対象外部分) (m2)				解体後計
JR部分	駅ラチ内コンコース		740.48	740.48
	ホーム		93.28	93.28
	既設建物		833.76	833.76
合計 (確認申請対象外部分)			1,667.52	1,667.52
総合計 (申請対象部分 + 申請対象外部分)			3,610.97 + 833.76	= 4,444.73
			3,427.76 + 833.76	= 4,261.52

JR部分 (確認申請対象部分)				
駅ラチ外コンコース・旅行センター	(m2)			解体後計
㉑	3.925	* 4.75	= 18.6438	
㉒	9.545	* 10.590	= 101.0816	
㉓	8.45	* 5.11	= 43.1795	
㉔	1.465	* 3.350	= 4.9078	
㉕	1.465	* 1.76	= 2.5784	
㉖	7.565	* 15.605	= 118.0518	
小計			= 288.4429	288.44
駅本屋			(m2)	解体後計
㉗	4.295	* 16.250	= 69.7938	
㉘	11.85	* 21.00	= 248.850	
㉙	10.90	* 10.108	= 110.1772	
㉚	6.82	* 7.75	= 52.855	
㉛	2.55	* 8.91	= 22.7205	
㉜	12.650	* 12.200	= 154.330	
㉝	10.900	* 2.092	= 22.8028	
㉞	6.82	* 2.358	= 16.0816	
㉟	2.55	* 1.198	= 3.0549	
㊱	9.37	* 2.092	= 19.6020	
小計			= 720.2678	720.27
店舗			(m2)	解体後計
㊲	8.75	* 12.00 * 4	= 420.00	
㊳	11.25	* 8.00	= 90.00	
㊴	6.85	* 8.00	= 54.80	
小計			= 564.80	564.80
合計			1,573.51	1,573.51
JR部分 (確認申請対象外部分)				
駅ラチ内コンコース・ホーム	(m2)			解体後計
㊵	6.23	* 15.70	= 97.811	
㊶	9.605	* 24.50	= 235.3225	
㊷	10.970	* 15.150	= 166.1955	
㊸	15.465	* 2.600	= 40.209	
㊹	16.965	* 3.49	= 59.2079	
㊺	16.965	* 3.49	= 59.2079	
㊻	15.715	* 3.80	= 59.717	
㊼	10.900	* 2.092	= 22.8028	
小計			= 740.4736	740.48
既設建物			(m2)	解体後計
㊽	6.35	* 12.770 + 0.35	= 82.224	
㊾	2.13	* 4.00	= 8.520	
㊿	1.63	* 0.90	= 1.467	
小計			= 93.2710	93.28
合計			833.76	833.76

凡例
解体対象部分を示す。

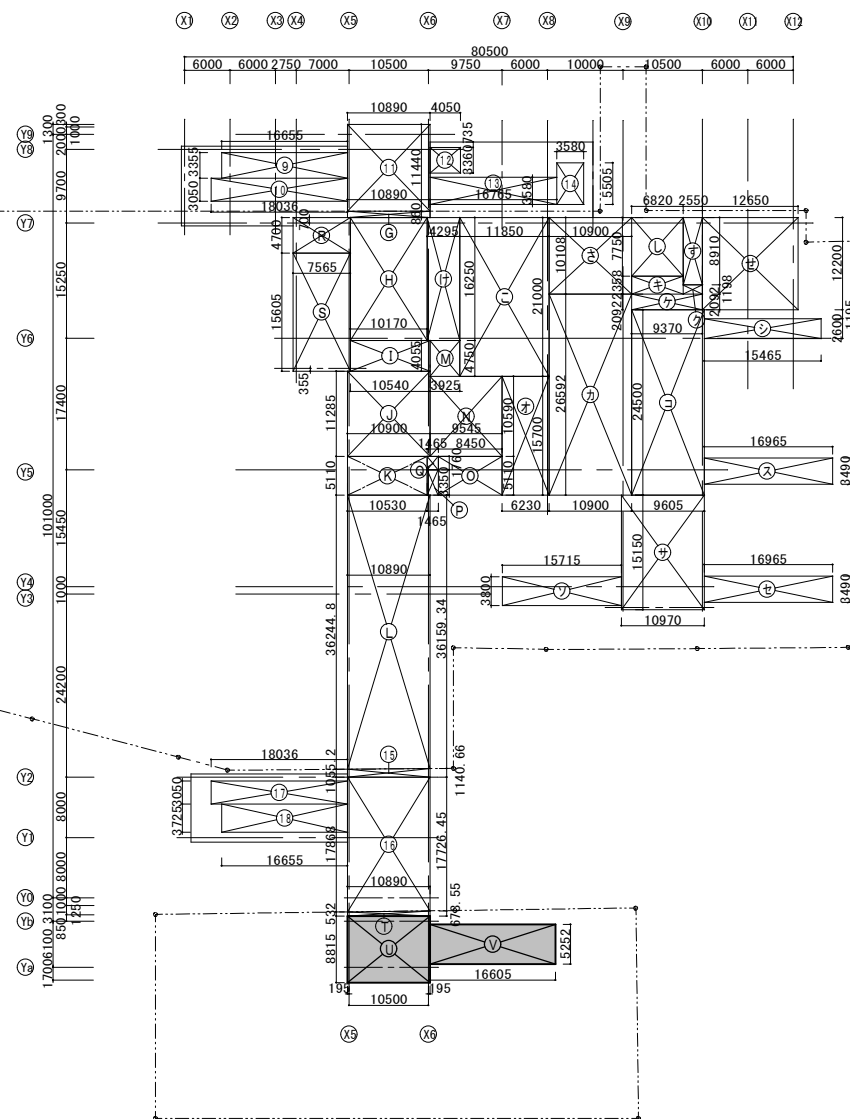


1階床面積求積図 S=1 : 1,000

多治見市部分 (確認申請対象部分)						
道路部分		自由通路1階 南口 (確認申請対象部分)			(m2)	解体後計
①	21.67	*	8.56	=	185.4952	
②	11.00	*	8.56	=	94.16	
③	10.89	*	2.30	=	25.047	
④	10.695	*	0.58	=	6.2031	
⑤	21.75	*	9.14	=	198.795	
小計				= 509.7003	509.71	509.71
道路部分		自由通路2階 南口 (確認申請対象部分)			(m2)	解体後計
⑨	16.655	*	3.355	=	55.8775	
⑩	18.036	*	3.05	=	55.0098	
⑪	10.89	*	11.440	=	124.5816	
⑫	4.05	*	3.36	=	13.608	
⑬	16.765	*	3.58	=	60.0187	
⑭	3.580	*	5.505	=	19.7079	
小計				= 328.8035	328.81	328.81
合計					838.52	838.52
多治見市部分 (確認申請対象部分)						
道路部分		自由通路1階 北口 (確認申請対象部分)			(m2)	解体後計
⑥	20.52	*	8.84	=	181.3968	
⑦	11.30	*	8.80	=	99.44	
⑧	2.53	*	3.23	=	8.1719	
小計				= 289.0087	289.01	289.01
道路部分		自由通路2階 北口 (確認申請対象部分)			(m2)	解体後計
⑮	(1.0552+1.14066) * 10.89/211.9565					
⑯	(17.868+17.72645) * 10.89/293.8118					
⑰	18.036	*	3.05	=	55.0098	
⑱	16.655	*	3.725	=	62.0399	
小計				= 322.818	322.82	322.82
合計					611.83	611.83
多治見市部分 (確認申請対象部分)						
自由通路1階 (確認申請対象部分)					(m2)	解体後計
Ⓐ	21.67	*	1.98	=	42.9066	公衆便所
Ⓑ	11.00	*	1.16	=	12.76	
Ⓒ	21.75	*	1.16	=	25.23	
Ⓓ	2.50	*	1.20	=	3.00	
Ⓔ	11.00	*	8.19	=	90.09	
Ⓕ	10.795	*	3.45	=	37.2428	
小計				= 211.2294	211.23	211.23
自由通路2階 (確認申請対象部分)					(m2)	解体後計
Ⓖ	10.89	*	0.86	=	9.3654	9.3654
Ⓕ	10.17	*	16.250	=	165.2625	165.2625
①	10.54	*	4.055	=	42.7397	42.7397
Ⓖ	10.90	*	11.285	=	123.0065	123.0065
Ⓖ	10.53	*	5.11	=	53.8083	53.8083
Ⓖ	(36.2448+36.15934)*10.89/2 =394.2405					394.2405
Ⓖ	7.565	*	4.70	=	35.5555	観光案内所 35.5555
Ⓖ	(0.532+0.67355) * 10.89/2 = 6.5642					6.5642
Ⓖ	10.89	*	8.815	=	95.9954	0.0000
Ⓖ	16.605	*	5.252	=	87.2095	0.0000
小計				= 1,013.7475	1,013.75	830.54
合計					1,224.98	1,041.77

J R 部分 (確認申請対象部分)						
自由通路 2 階 (確認申請対象部分)					(m2)	解体後計
(M)	3.925	*	4.75	=	18.6438	
(N)	9.545	*	10.590	=	101.0816	
(O)	8.45	*	5.11	=	43.1795	
(P)	1.465	*	3.350	=	4.9078	
(Q)	1.465	*	1.76	=	2.5784	
(S)	7.565	*	15.605	=	118.0518	旅行センター
小計					= 288.4429	288.45 288.45
J R 部分 (確認申請対象部分)						
駅本屋 1 階 (確認申請対象部分)					(m2)	解体後計
(あ)	13.905	*	8.19	=	113.8820	
(い)	2.295	*	8.19	=	18.7961	
(う)	2.295	*	1.69	=	3.8786	
(え)	2.50	*	8.68	=	21.70	
(お)	6.11	*	9.88	=	60.3668	
(か)	6.695	*	7.20	=	48.204	
(き)	17.095	*	10.095	=	172.5740	
(く)	0.60	*	1.55	=	0.93	
小計					= 440.3315	440.34 440.34
駅本屋 2 階 (確認申請対象部分)					(m2)	解体後計
(け)	4.295	*	16.250	=	69.7938	
(こ)	11.85	*	21.00	=	248.850	
(さ)	10.90	*	10.108	=	110.1772	
(し)	6.82	*	7.75	=	52.855	
(す)	2.55	*	8.91	=	22.7205	
(せ)	12.650	*	12.200	=	154.330	
小計					= 658.7265	658.73 658.73
合計						1099.07 1099.07
J R 部分 店舗 1 階 (確認申請対象部分)						
					(m2)	解体後計
(a)	8.75	*	12.00	* 4 =	420.00	
(b)	11.25	*	8.00	* 2 =	180.00	
小計					= 600.00	600.00 600.00
合計						600.00 600.00

凡例
解体対象部分を示す。



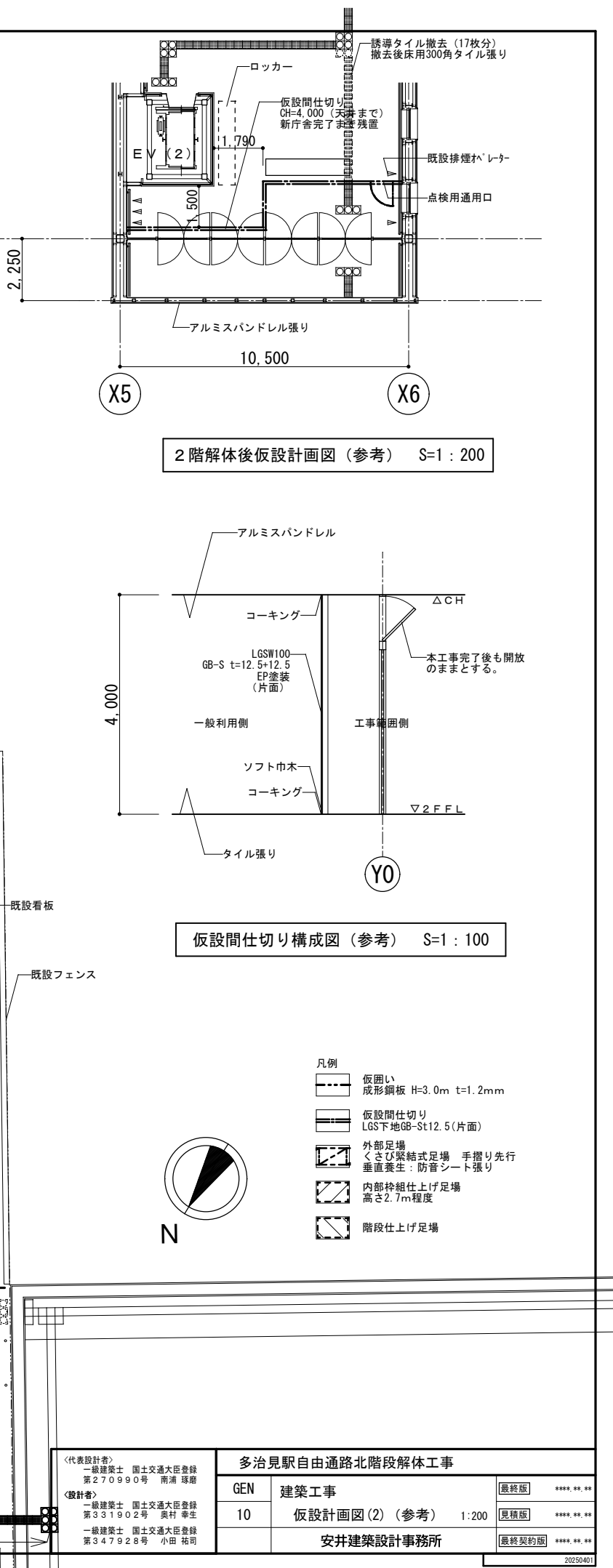
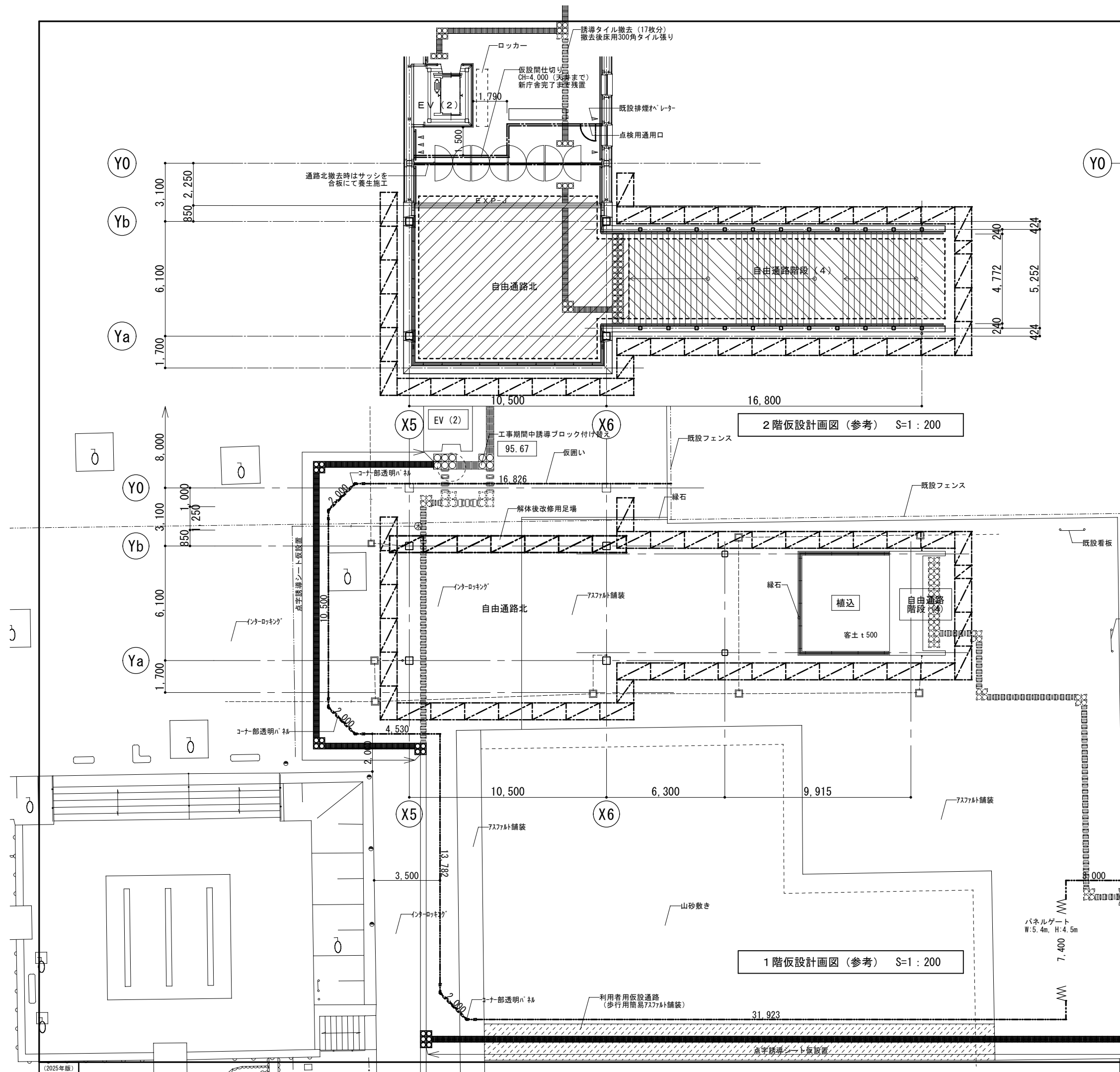
2 階床面積求積図 S=1 : 1,000

J R 部分 駅ラチ内コンコース・ホーム 1 階 (確認申請対象外部分) (m2)				解体後計	
ア	3.125	*	2.68	=	8.375
イ	2.70	*	1.90	=	5.13
ウ	4.85	*	3.49	=	16.9265
エ	2.70	*	2.00	=	5.40
小計				=	35.8315
				35.84	35.84
J R 部分 駅ラチ内コンコース・ホーム 2 階 (確認申請対象外部分) (m2)				解体後計	
オ	6.23	*	15.70	=	97.811
カ	10.90	*	26.592	=	289.8528
キ	6.82	*	2.358	=	16.0816
ク	2.55	*	1.198	=	3.0549
ケ	9.37	*	2.092	=	19.6020
コ	9.605	*	24.50	=	235.3225
サ	10.970	*	15.150	=	166.1955
シ	15.465	*	2.600	=	40.209
ス	16.965	*	3.49	=	59.2079
セ	16.965	*	3.49	=	59.2079
ソ	15.715	*	3.80	=	59.717
小計				=	1046.2621
				1,046.27	1,046.27
合計				1,082.11	1,082.11
J R 部分 既設建物 1 階 (確認申請対象外部分) (m2)				解体後計	
カ	6.35	*	12.54 + 0.35	=	6.27
小計				=	81.8235
				81.83	81.83
J R 部分 既設建物 2 階 (確認申請対象外部分)					
カ	6.00	*	12.00	=	72.000
小計				=	72.000
				72.00	72.00
合計				153.83	153.83

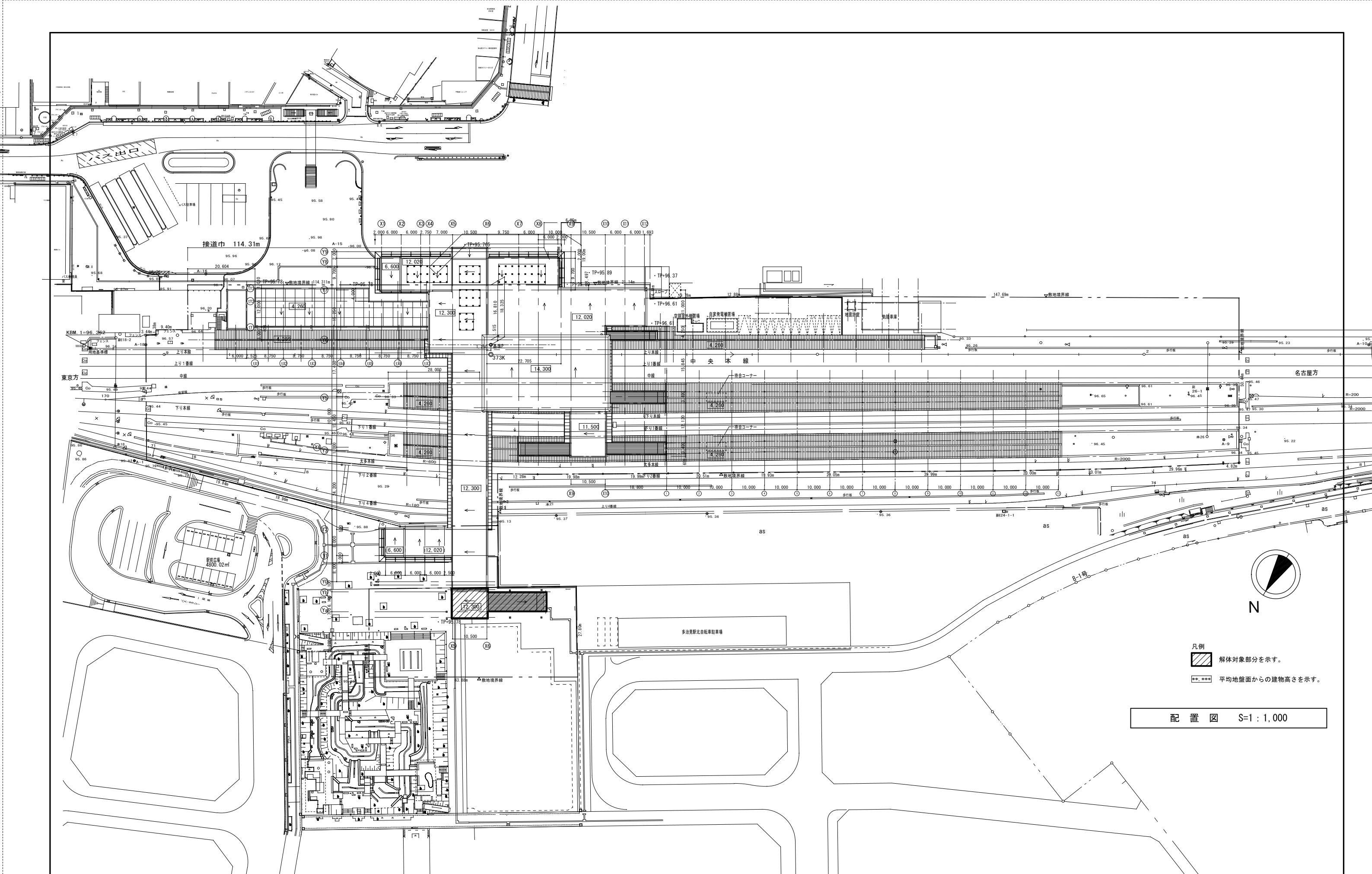
延床面積合計（確認申請対象部分）					(m2)		
		1階床面積	2階床面積(解体前)	2階床面積(解体後)	合計	解体後計	
多治見市部分	多治見市部分 延床面積	南口道路部分	509.71	328.81	328.81	838.52	838.52
		北口道路部分	289.01	322.82	322.82	611.83	611.83
		自由通路	211.23	1,013.75	830.54	1,224.98	1,041.77
	小計	1,009.95	1,665.38	1,482.17	2,675.33	2,492.12	
JR部分	JR部分 延床面積	駅ラチ外コンコース・旅行センター		288.45	288.45	288.45	288.45
		駅本屋	440.34	658.73	658.73	1,099.07	1,099.07
		店舗	600.00			600.00	600.00
	小計	1,040.34	947.18	947.18	1,987.52	1,987.52	
合計（道路部分を含まない面積合計）					3,212.50	3,029.29	
合計（確認申請対象部分）（A）					4,662.85	4,479.64	
延床面積合計（確認申請対象外部分）					(m2)		
		1階床面積	2階床面積(解体前)	2階床面積(解体後)	合計	解体後計	
JR部分	駅ラチ内コンコース						
	・ホーム部分 延床面積	35.84	1,046.27	1,046.27	1,082.11	1,082.11	
	既設建物 延床面積	81.83	72.00	72.00	153.83	153.83	
小計		117.67	1,118.27	1,118.27	1,235.94	1,235.94	
合計（B）					1,235.94	1,235.94	
総合計（申請対象部分 + 申請対象外部分）							
(A) + (B) =					5,898.79	5,715.58	

凡例
解体対象部分を示す。

[illegible]



<代表設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第270990号 南浦 琢磨		多治見駅自由通路北階段解体工事	
<設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第331902号 奥村 幸生 一級建築士 国土交通大臣登録 第347928号 小田 祐司	GEN	建築工事	最終版
	10	仮設計画図(2) (参考)	見積版
安井建築設計事務所		最終契約版	



配置図 S=1:1,000

〈代表設計者〉
一級建築士 国土交通大臣登録
第270990号 南浦 琢磨
〈設計者〉
一級建築士 国土交通大臣登録
第331902号 奥村 幸生
一級建築士 国土交通大臣登録
第347928号 小田 祐司

多治見駅自由通路北階段解体工事

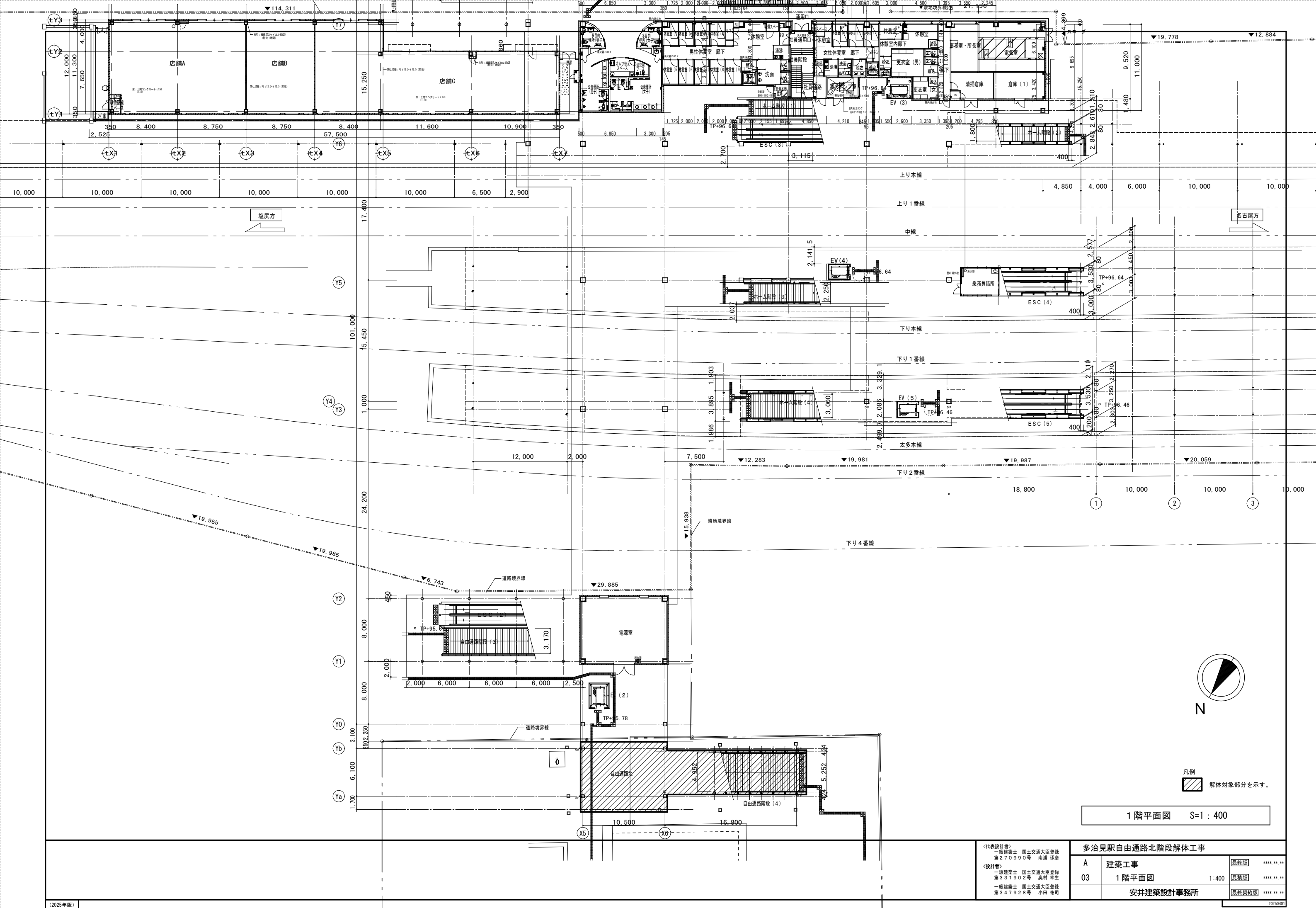
A	建築工事	
01	配置図	1
	安井建築設計事務所	

外 部 仕 上 表 （ 自 由 通 路 ）									
屋根 1 (R-1)	エチレンプロピレンゴム系シート t 1. 14 + 硬質イソシアヌレートボード t = 2.5 + 中質木毛セメント板 t = 2.5 + 亜鉛メッキ鋼板デッキプレート t = 1. 2 （屋根30分耐火構造） FP030RF-0012	外壁 1	アルミスバンドレル t = 2. 3（焼付塗装）面巾 200 下地：ケイカル板 t12+ t9 （FP030NE-9301）	開口部 1	アルミサッシ （二次電解着色）	庇	スチールパネル t 100（フッ素樹脂塗装指定色） 受鉄骨：フッ素樹脂塗装		
				開口部 2	アルミカーテンウォール （二次電解着色）				
屋根 3 (R-3)	ガルバリウム鋼板立馳t0.4 + アスファルトルーフィング + 硬質木毛セメント板t25（ホーム階段） （屋根30分耐火構造） FP030RF-9037	外壁 2	スチールパネル t1.6（フッ素樹脂塗装指定色）+ 防水シート 下地：ケイカル板 t12+ t9 （FP030NE-9301） 見切材：スチール t = 1.6加工（フッ素樹脂塗装指定色）	開口部	スチールドア （フッ素樹脂焼付塗装）	笠木（K-1） (K-2) (K-3)	アルミ既製品（アルマイトシルバー）		
							アルミ既製品（二次電解着色 ブラック）		
		外壁 3	押出成形セメント板 t 60 + 吹付タイル指定色 (FP060NE-9035)					スチールパネル t1.6（フッ素樹脂塗装指定色）	
		外部巾木	S U S t 1.5 H L H = 200（駅前広場）						
		軒天 1	アルミスバンドレル t 1.0 巾100	メンデデッキ	床：スチール製グレーチング H = 25 （溶融亜鉛メッキ）	タラップ	S U S 製（H L）背カゴ付		
		軒天 2	スチールパネル t1.6（フッ素樹脂塗装指定色）		手すり：F B-9×65（亜鉛メッキ） 補強材：15×15（亜鉛メッキ）	軒樋・竖樋	S U S Φ100、Φ125、Φ150 H L		
					支柱：F B-12×65（亜鉛メッキ）@1000				
					手摺子：R P-21.7φ × t 2.8 @200（亜鉛メッキ）	その他	太陽光発電パネル		

内 部 仕 上 表 (4)（ 自 由 通 路 ） ※ シックハウス対策の措置（建基第28条の2）として、特記無き限り、国土交通省 告示 第1113・1114・1115号に係る壁紙・合板・ボード・塗料・断熱材及び接着剤などの建築材料は、JIS・JAS規格F☆☆☆☆認定品又は、告示対象外のものを使用の事。

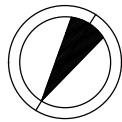
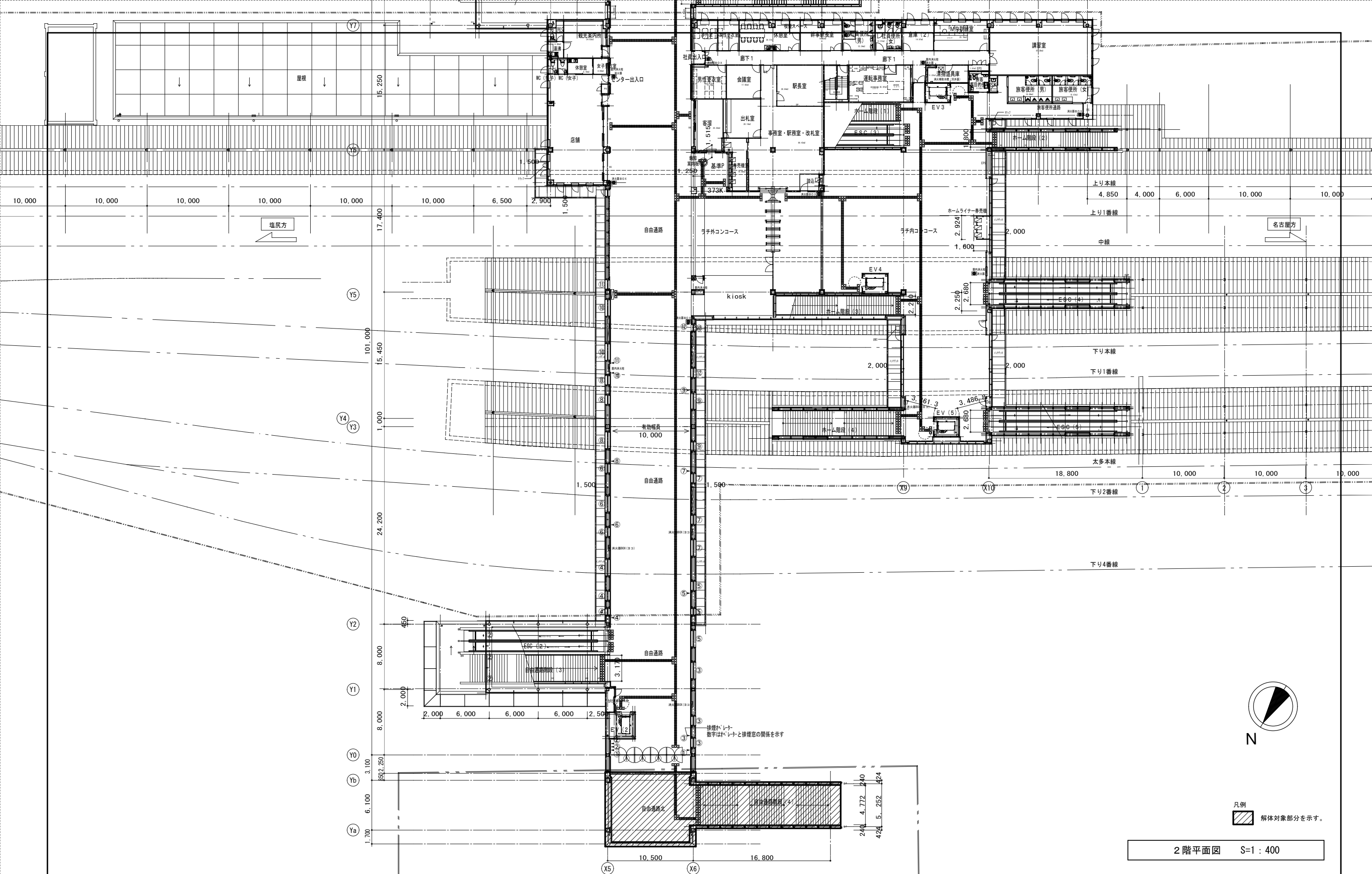
エリア	室名	床				巾 木			壁			柱 型			梁 型			天 井					内装制限 特記無き場合 準不燃	備 考	
		下地	仕 上	躯体より 仕上迄	床 レベル	仕 上	塗装	高さ	下地	仕 上	塗装	下地	仕 上	塗装	下地	仕 上	塗装	下地	仕 上	塗装	廻縁	天井高さ			
1 階	公衆便所（男子）	M	磁器質タイル t 9（300角）	30	-150				LGS RC	(PB t12.5+ラスカットボード t 9)+モルタル下地+陶器質タイル (120 x 60) コンクリート打+モルタル下地+陶器質タイル (120 x 60) ラスカットボード t 9+モルタル下地 (面台下)		LGS S	PB t12.5+ラスカットボード t 9 +モルタル下地+陶器質タイル					LGS	ケイカル板 t = 6	EP	塩ビ	2677		面台：メタクリル樹脂強化無機材（デュボンコーリアン同等以上）、汚垂石、手摺、洗面タケ、TB（特殊パネル樹脂 t=19 t=13）、鏡	
	公衆便所（女子）	M	磁器質タイル t 9（300角）	30	-150				LGS RC	(PB t12.5+ラスカットボード t 9)+モルタル下地+陶器質タイル (120 x 60) コンクリート打+モルタル下地+陶器質タイル (120 x 60) ラスカットボード t 9+モルタル下地+ (区画壁)		LGS S	PB t12.5+ラスカットボード t 9 +モルタル下地+陶器質タイル					LGS	ケイカル板 t = 6	EP	塩ビ	2677		面台：メタクリル樹脂強化無機材（デュボンコーリアン同等以上）、手摺、洗面タケ、棚板TB（特殊パネル樹脂 t=16 t=16）、鏡タケ+コナ用鏡	
	多目的便所（男子、女子）	M	磁器質タイル t 9（300角）	30	-150				LGS RC	(PB t12.5+ラスカットボード t 9)+モルタル下地+陶器質タイル (120 x 60) コンクリート打+モルタル下地+陶器質タイル (120 x 60) ラスカットボード t 9+モルタル下地+ (区画壁)		LGS S	PB t12.5+ラスカットボード t 9 +モルタル下地+陶器質タイル					LGS	ケイカル板 t = 6	EP	塩ビ	2677		面台：メタクリル樹脂強化無機材（デュボンコーリアン同等以上）、身障者用手摺、鏡	
	オムツ替えスペース	M	磁器質タイル t 9（300角）	30	-150				RC	コンクリート打+モルタル下地+陶器質タイル (120 x 60)								LGS	ケイカル板 t = 6	EP	塩ビ	2677		手洗カウンター：メタクリル樹脂強化無機材（デュボンコーリアン同等以上）、ペーパーベットの、鏡	
	幼児用便所	M	磁器質タイル t 9（300角）	30	-150				RC	コンクリート打+モルタル下地+陶器質タイル (120 x 60)								LGS	ケイカル板 t = 6	EP	塩ビ	2677		面台：メタクリル樹脂強化無機材（デュボンコーリアン同等以上）、汚垂石、棚板 t30、TB（フェノール樹脂 t=19 t=13 H=1200）	
	前室	M	磁器質タイル t 9（300角）	30	-150				LGS RC	(PB t12.5+ (HPB t9.5)+ラスカットボード t 9) +モルタル下地+陶器質タイル (120 x 60) 一部：コンクリート打放シ（アクリルシリコン樹脂タリヤ）								LGS	ケイカル板 t = 6	EP	塩ビ	2677		棚板 t30（メタクリル樹脂強化無機材）	
	自由通路電源室	RC	防塵塗装	30	30				床材立上		100	LGS	PB t 12. 5 GW着色ガラスクロス包 t 50			PB t 12. 5 GW着色ガラスクロス包 t 50			PB t 12. 5 GW着色ガラスクロス包 t 50				—		
2 階																									
	自由通路	M	磁器質タイル t 11（300角）パターン貼 ボーダー：磁器質タイル t 11貼	100	±0	SUS t = 1. 5 HL		100	LGS	アルミスバンドレル t 2. 3（面巾200） PB t 12. 5下地（二次電解着色）								LGS	アルミスバンドレル t = 1. 0（面巾100） （二次電解着色）		アルミ	4000		SUS製2段手摺、SS、展示ケース、ポスター掲示板	
	自由通路北	M	磁器質タイル t 11（300角）パターン貼 ボーダー：磁器質タイル t 11貼	100	±0	SUS t = 1. 5 HL		100	LGS	アルミスバンドレル t 2. 3（面巾200） PB t 12. 5下地（二次電解着色）								LGS	ケイカル板 t = 6		アルミ	4000		SUS製2段手摺、SS、誘導ブロック	
	観光案内所 （客溜まり）	M	磁器質タイル t 11（300角）	100	±0	SUS t = 1. 5 HL		100	LGS	PB t 12. 5+ビニルクロス 一部PB t 12. 5+HPB t 9. 5+ビニルクロス			PB t 12. 5+ビニルクロス					LGS	PB t = 12. 5捨張 +岩綿吸音板 t 12		塩ビ	3000	不燃	BB（バーチカルブラインド）	
	（カウンター内）	RC	OAフロアH=100 タイルカーベット t = 6. 5	100	±0	硬質塩ビ		100	LGS	PB t 12. 5+ビニルクロス								LGS	PB t = 12. 5捨張 +岩綿吸音板 t 12		塩ビ	3000	不燃	SUS FB見切	
	（湯沸）	RC	フリーフロアH=100+耐水合板 t 12 長尺塩ビシート t = 2. 0	100	±0	硬質塩ビ		100	LGS	PB t 12. 5+ビニルクロス								LGS	化粧PB t 9. 5		塩ビ	2500		ミニキッチン1200mmタイプ	
	（WC）	RC	フリーフロアH=100+耐水合板 t 12 長尺塩ビシート t = 2. 0	60	±0	硬質塩ビ		100	LGS	PB t 12. 5+ビニルクロス								LGS	化粧PB t 9. 5		塩ビ	2500		フェノール樹脂面台、トイレブース（メラミンフラッシュ t=40）	
共通	自由通路階段 1. 2. 3	S	通心力高強度PC階段 路面：御影石 t = 25 JB（段鼻色変え） ケ込み：凝石（水磨き）			SUS t = 1. 5 HL				アルミパネル t = 2.0（無機質系焼付塗装）															SUS製2段手摺、段差識別シール（樹脂チップ）
	自由通路階段 4	S	通心力高強度PC階段 路面：御影石 t = 25 JB（段鼻色変え） ケ込み：凝石（水磨き）			SUS t = 1. 5 HL												LGS	ケイカル板 t = 8 目透し張り	EP	塩ビ				SUS製2段手摺、段差識別シール（樹脂チップ）
	E Vシャフト	M	モルタル金ゴテ+塗膜防水	50	-1700 -1100 （-750）	防水立上 シャフト外側巾木：SUS t = 1.5HL H=300		1700 1100 （750）		アルミカーテンウォール（二次電解着色） 一部ケイカル t=8EP			鉄骨現し アクリルシリコン樹脂塗装（美観塗装）			鉄骨現し アクリルシリコン樹脂塗装（美観塗装）			素地			—			

表示 略 号	EP	合成樹脂エマルジョン塗料仕上	S	スチール	AB	アルミ製暗幕ボックス+透光カーテン	特 記 事 項	1. 外周RC壁内側に断熱（グラスウールt=25 10Kg品）を施す。	耐火 構造 認定 番号	耐火材料	耐火材料・耐火構造認定番号は別図（図番A-012 耐火・防火材料認定リスト、耐火被覆範囲図）による。	註 記								
	OP	油性鋼合ペイント仕上	SUS	ステンレス鋼（304）特記なき限り	BB	アルミ製ブラインドボックス+ブラインド		2. 各部屋出入りに塩ビ製室名札（枠付壁平付既製品）を設ける。					ミニキッチン：（サンウェーブ L=1200 電気給湯器 20L、IH 1口コンロ付同等品以上）							
	SOP	合成樹脂鋼合塗料仕上	LGS	軽量樹脂製下地材	VAT	ノンアスベストビニルタイル		3. SLF、FFの厚みは仕上厚を含んだ寸法表示ゆえ施工時には注意をすること。					フリーフロア：H150 フクビ Kシリーズ同等以上（H100共）							
	GP	塩化ゴム系塗料仕上	FB	フラットバー	VT	ホモジュラスビニルタイル		（例）SLFt=20 + 長尺塩ビシートt=2.0 → SLFt=18 + 長尺塩ビシートt=2.0と解する。					OAフロア：ニチアス シグマフロア M300A同等以上							
	FE	フタル酸樹脂系塗料仕上	VP	硬質塩化ビニル管（一般管）	TB	テラゾブロック		4. 上記壁仕上において下地貼材は区画壁を優先するゆえ平面の指示により調整を行う。					鋼製床組：三洋工業 スリーベース601 同等以上							
	VE	溶剤形塩化ビニル樹脂系塗料仕上	VU	硬質塩化ビニル管（溝内管）	PB	せっこうボード		5. 備品は別途工事とする。					樹脂製手摺：YM工業 RYMO-40 同等以上							
	UE	ポリウレタン樹脂系塗料仕上	SGP	配管用炭素鋼管（白管）	HPB	硬質せっこうボード		6. タイルカーベットはサンゲツNT-500程度とする。												
	AE	アクリル樹脂系塗料仕上	HP	通心力筋筋コンクリート管	GPB	強化せっこうボード		7. 長尺塩ビシートはサンゲツロマネス程度とする。												
	MP	多相模様塗料仕上	TP	鋼 管	耐水PB	耐水せっこうボード		8. 長尺塩ビシート t=2.0は、重歩行用とする。												
	CL	クリヤラッカー仕上	RD	ルーフドレン	化粧PB	化粧せっこうボード		9. 軽量鉄骨天井下地の野縁ピッチは、化粧PB（455×910）は@227とする。												
	UC	ポリウレタン樹脂系クリヤ仕上	DP	壁 樋	不燃化粧PB	不燃化粧せっこうボード		その他の軽量鉄骨天井下地の野縁ピッチは、@303とする。												
	OS	油性ステイン仕上	HL	ヘアライン仕上	FGボード	繊維混入せっこうボード		10. 軽量鉄骨壁下地のスタッドピッチはボードシングル貼りは@303とする。												
	OSV	油性ステインワニス仕上	HDZ55	溶融亜鉛メッキ（最小板厚4.5ミリ以上）	RB	ロックウール化粧吸音板		軽量鉄骨壁下地のスタッドピッチはボードダブル貼りは@455とする。												
	OSW	油性ステインワックス仕上	HDZ45	溶融亜鉛メッキ（最小板厚3.2ミリ以上）	ケイカル板	けい酸カルシウム板		11. 帽子掛け：（BEST）No. 700 同等品												
	複層塗材	合成樹脂エマルジョン系	HDZ35	溶融亜鉛メッキ（最小板厚1.6ミリ以上）	FB	石綿セメント板（フレキシブル板）		12. タオル掛け：（BEST）No. 651 同等品												
	数層塗材	反応硬化型合成樹脂エマルジョン系	SF	鋼製床組	FPB	フォームポリスチレンボード		13. 暗幕カーテン 遮光1級：（サンゲツ BLACK OUT C）CK2900 同等品					建具 関連 特記 事項・ 照明 BOX × 特記 事項	耐火 構造 認定 番号	耐火材料	耐火材料・耐火構造認定番号は別図（図番A-012 耐火・防火材料認定リスト、耐火被覆範囲図）による。	凡例  解体対象部分を示す。			
A-BE	アクリル樹脂系付塗料仕上	SLF	均しモルタル（セルフレベリング工法）			14. カーベット敷きはサンゲツLサンライム 同等品以上とする。														
RC	鉄筋コンクリート	SP	スチールパーティション（長辺部、不燃対応）			15. ブラインドはタチカワ VS35 同等品以上とする。														
CB	コンクリートブロック	CR	カーテンレール+ビニルカーテン																	
M	均しモルタル	FF	フリーフロア																	
												多治見駅自由通路北階段解体工事								



1 階平面図 S=1 : 400

〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第270990号 南浦 琢磨 〈設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第331902号 奥村 幸生 一級建築士 国土交通大臣登録 第347928号 小田 祐司		多治見駅自由通路北階段解体工事				
		A	建築工事		最終版	※※※, ※※, ※※
		03	1 階平面図	1:400	見積版	※※※※, ※※, ※※
		安井建築設計事務所			最終契約版	※※※※, ※※, ※※

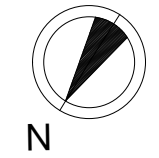
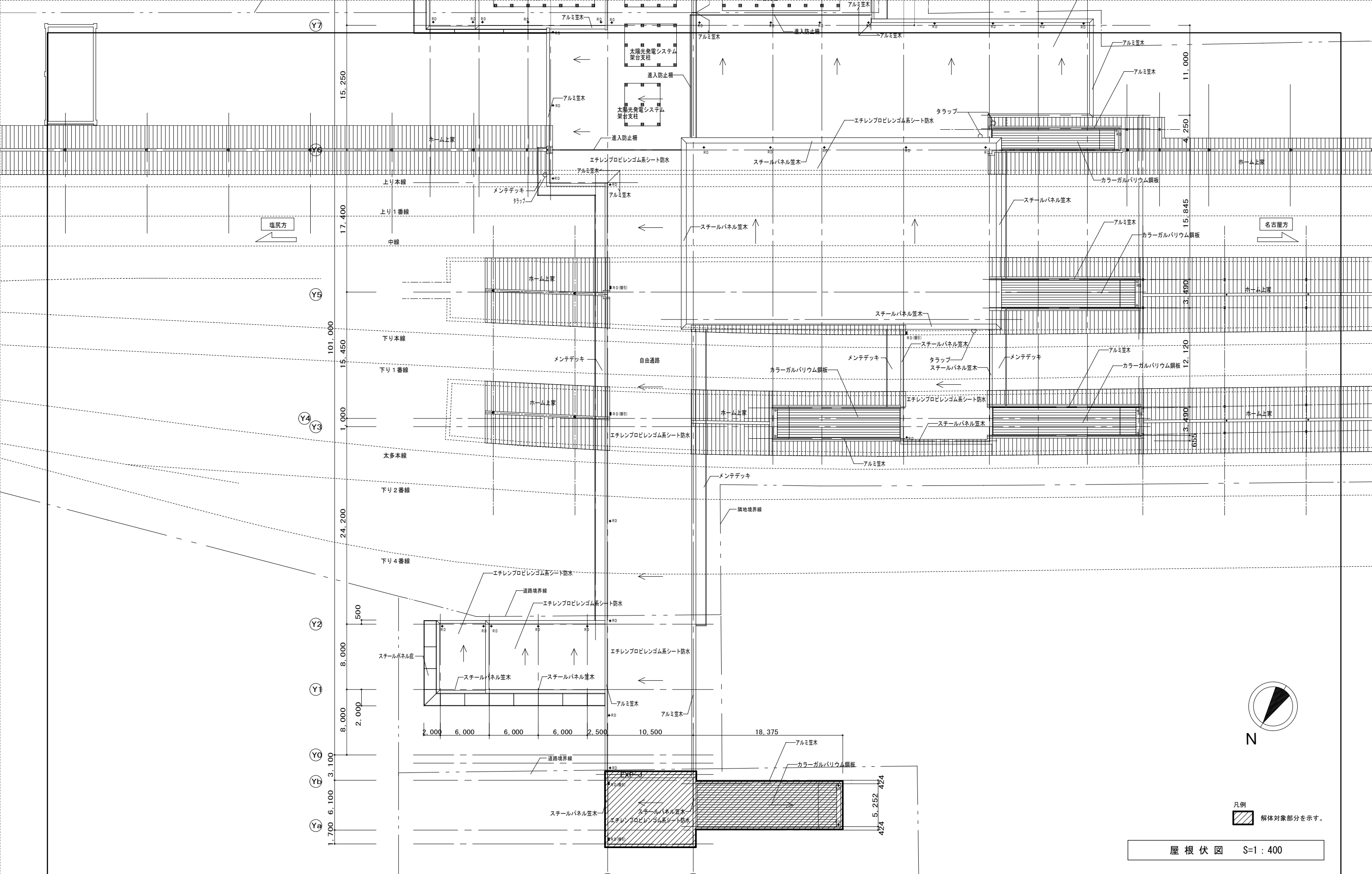


N

凡例
解体対象部分を示す。

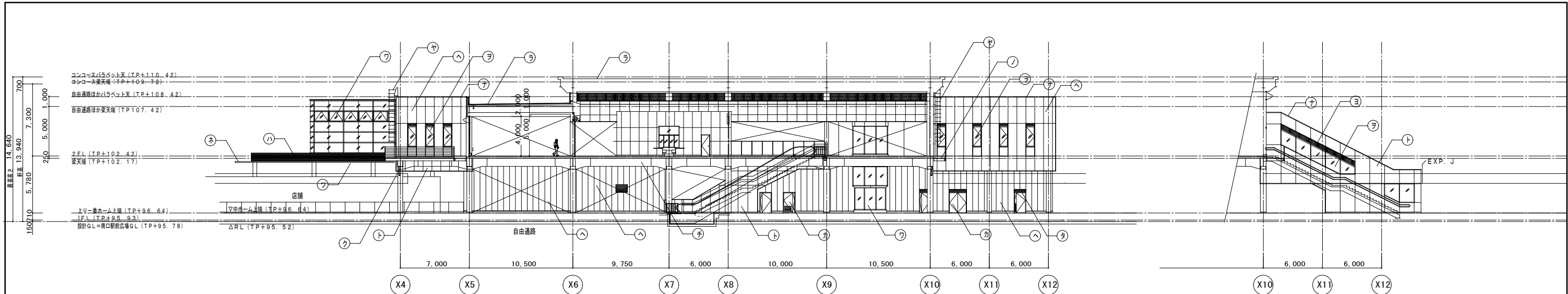
2 階平面図 S=1 : 400

＜代表設計者＞ 一級建築士 国土交通大臣登録 第270990号 南浦 琢磨 ＜設計者＞ 一級建築士 国土交通大臣登録 第331902号 奥村 幸生 一級建築士 国土交通大臣登録 第347928号 小田 祐司		多治見駅自由通路北階段解体工事				
		A	建築物 2 階平面図 安井建築設計事務所	最終版	※奥村 幸生, 南浦 琢磨	
		04		1:400	見積版	※奥村 幸生, 南浦 琢磨
					最終契約版	※奥村 幸生, 南浦 琢磨

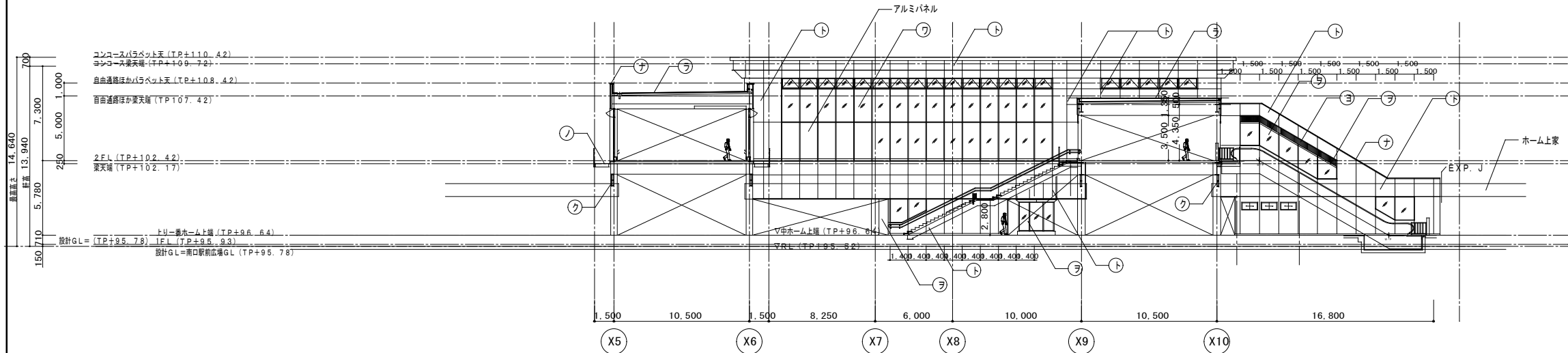


凡例
解体対象部分を示す。

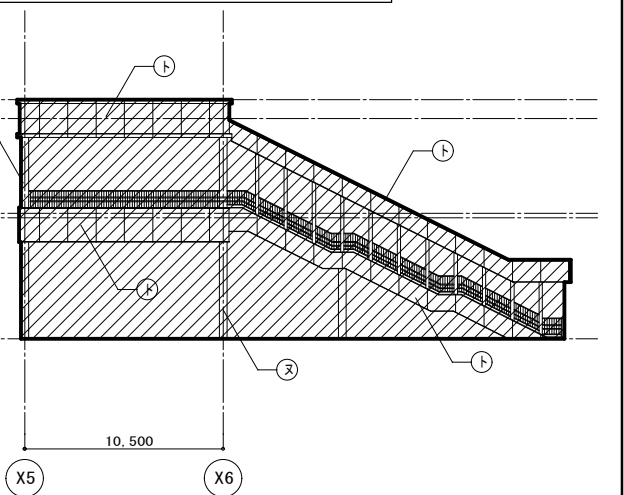
屋根伏図 S=1:400



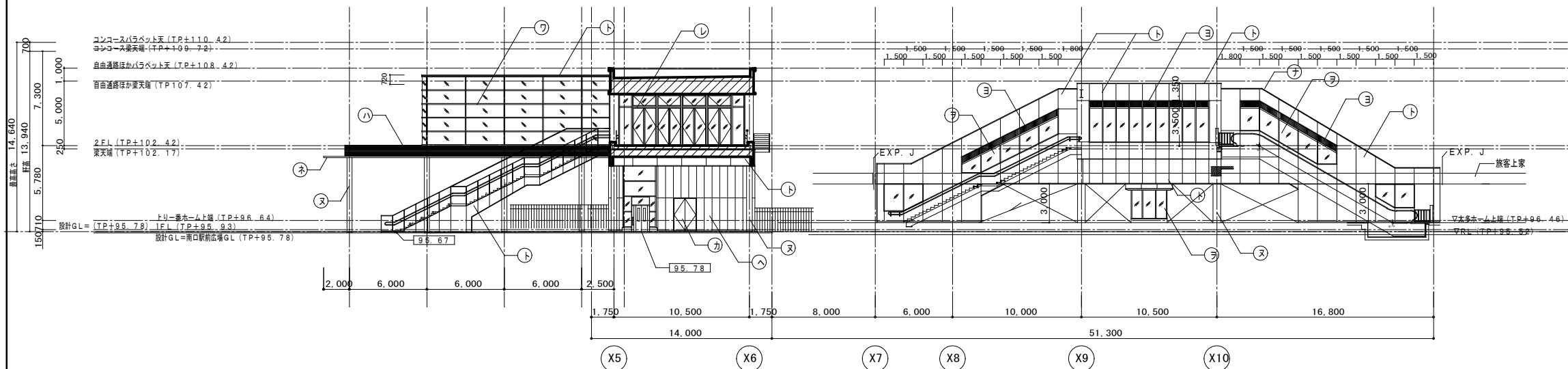
北立面図 1 (Y 6) S=1:400



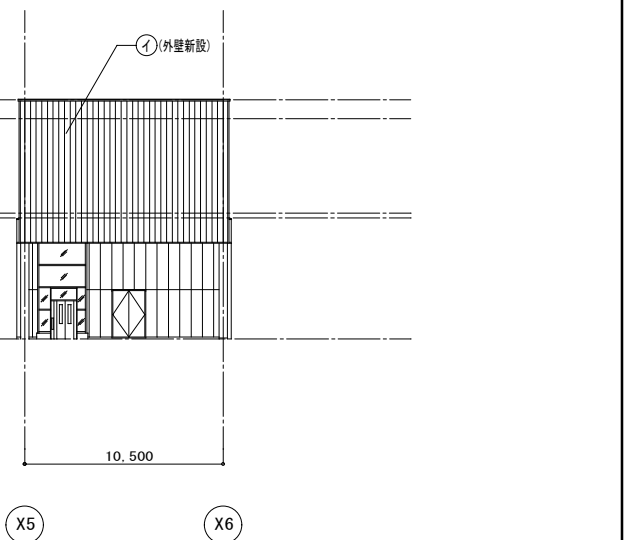
北立面図 2 (Y 5) S=1:400



自由通路北・階段 (4) 立面図 S=1:400



北立面図 3 (Y 1, Y 4) S=1:400

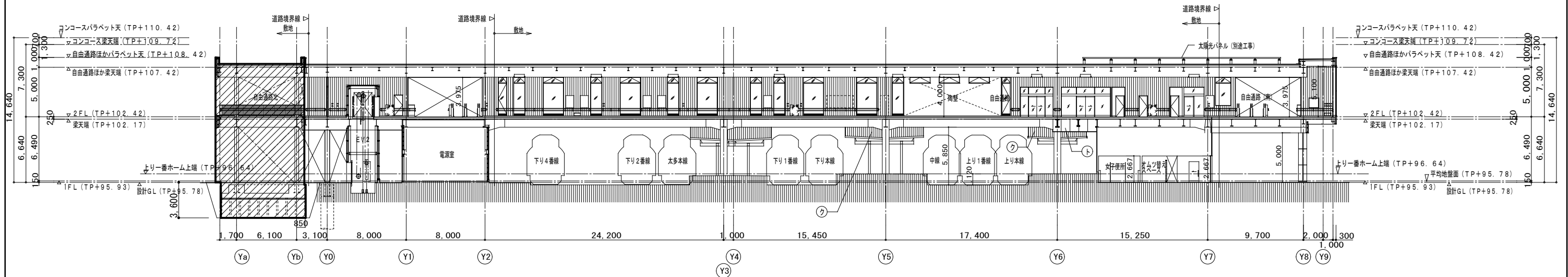


解体後自由通路北立面図 S=1:400

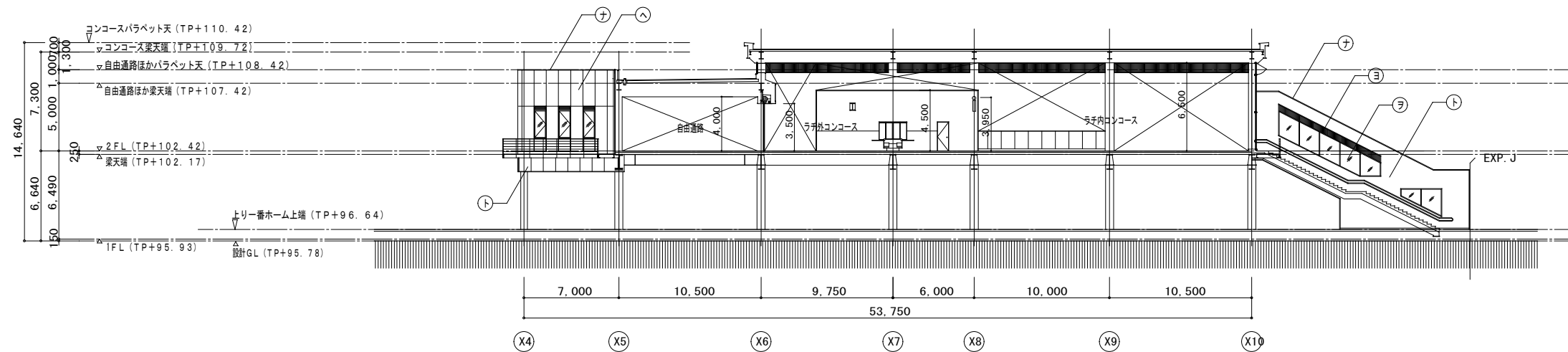
凡例		仕上		仕上		仕上		仕上	
符号		符号		符号		符号		符号	
イ	外壁 1 アルミスパンドレル (フッ素焼付メタリック塗装指定色) +防水シート	ト	外壁 7 スチールパネル t1.6加工 無機質系焼付塗装指定色	ワ	開口部 2 アルミカーテンウォール 二次電解着色	ヅ	軒天 2 スチールパネル t1.6無機質系塗装指定色	ム	カラーガルバリウム鋼板タテハゼ
ロ	外壁 2 アルミカットパネル t3.0 無機質系焼付塗装指定色	チ	外壁 8 鉄骨部材表シ (フッ素樹脂塗装)	カ	開口部 3 スチールドア フッ素樹脂焼付塗装指定色	ネ	庇 スチールパネル t1.6 (無機質系焼付塗装指定色)	ウ	SUS製手摺
ハ	外壁 3 アルミリブ付きスパンドレル t1.5 (二次電解着色)	リ	開口部 4 アルミ縦型防水ガラリ 二次電解着色	コ	開口部 5 アルミガラリ 二次電解着色	ナ	笠木 アルミ既製品 (一部部 アルミタイトシルバー 自由通路部・二次電解ブラック)	ゾ	メンテナンスデッキ
ニ	外壁 4 押出成型セメント板 t60+タイル (H300*W300*t18) ビームハール工法	ス	外壁 10 耐火塗料+フッ素樹脂塗装指定色	タ	開口部 6 SUS製サッシ	セ	屋根 1 エチレンプロピレンゴム系シート防水 +硬質イソシアヌレートボード t25 +硬質木毛セメント板 t25 +垂鉛メッキ鋼板デッキ P.L t1.2	オ	樋 1 SUSφ100、φ150 H.L
ホ	外壁 5 押出成型セメント板 t60+タイル (H150*W500*t12) 新シュタールネット工法	ル	外部巾木 SUS t1.5 H.L H=200	レ		シ		ク	塞ぎ材 カラーガルバリウム鋼板 t0.4 (下地鉄骨)
ヘ	外壁 6 押出成型セメント板 t60 吹付タイル指定色	エ	開口部 1 アルミサッシ 二次電解着色	ソ	軒天 1 アルミスパンドレル (無機質系焼付塗装指定色)	ジ		ヤ	タラップ (背カゴ付) SUS製

凡例
図中の仕上は仕上表を正とする。

多治見駅自由通路北階段解体工事		最終版	****. **.
A	建築工事	見積版	****. **.
07	立面図 (2)	1:400	
安井建築設計事務所		最終契約版	****. **.



自由通路断面図 S=1:400



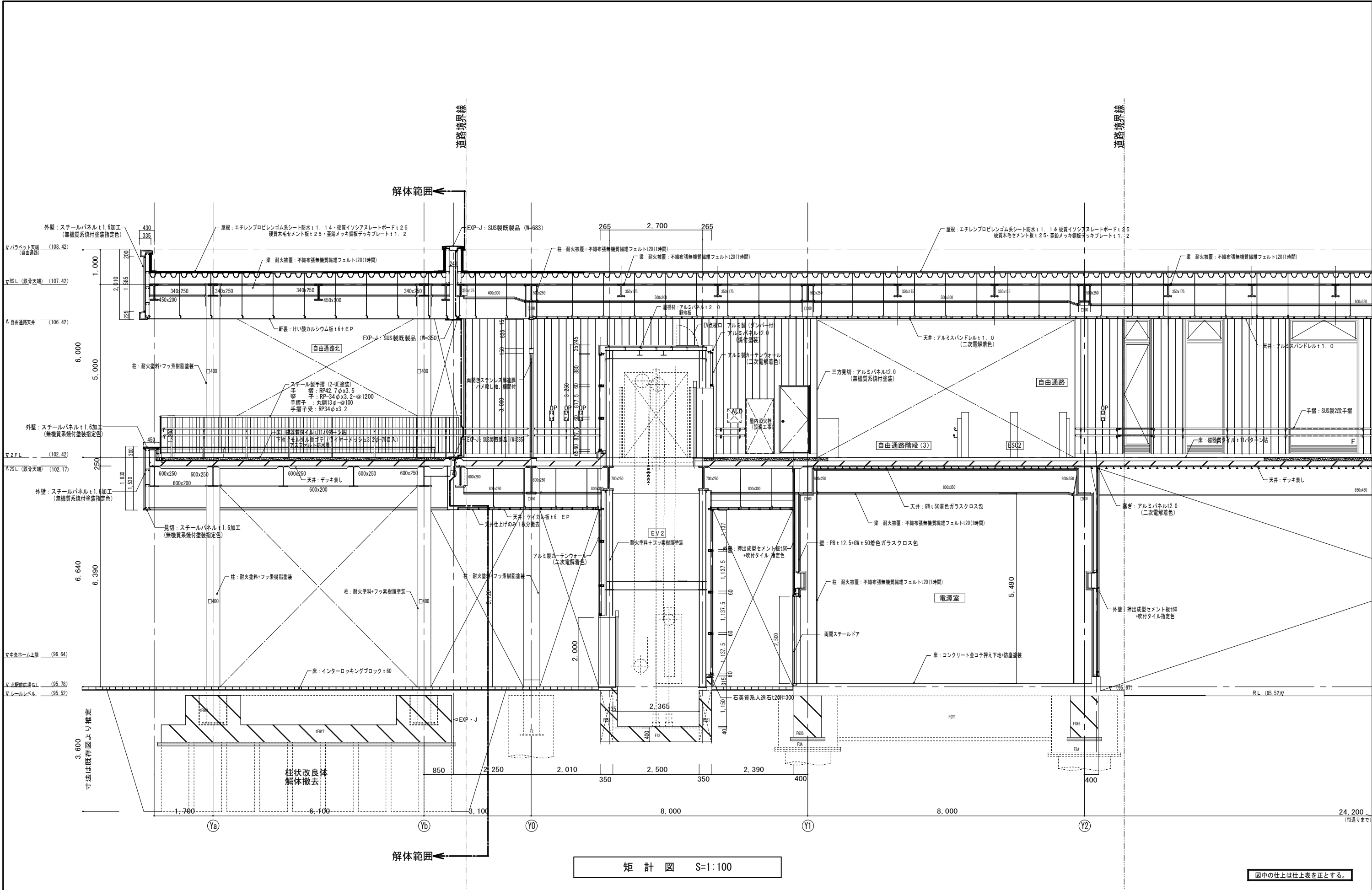
ラチ内・ラチ外コンコース断面図 S=1:400

凡例
解体対象部分を示す。

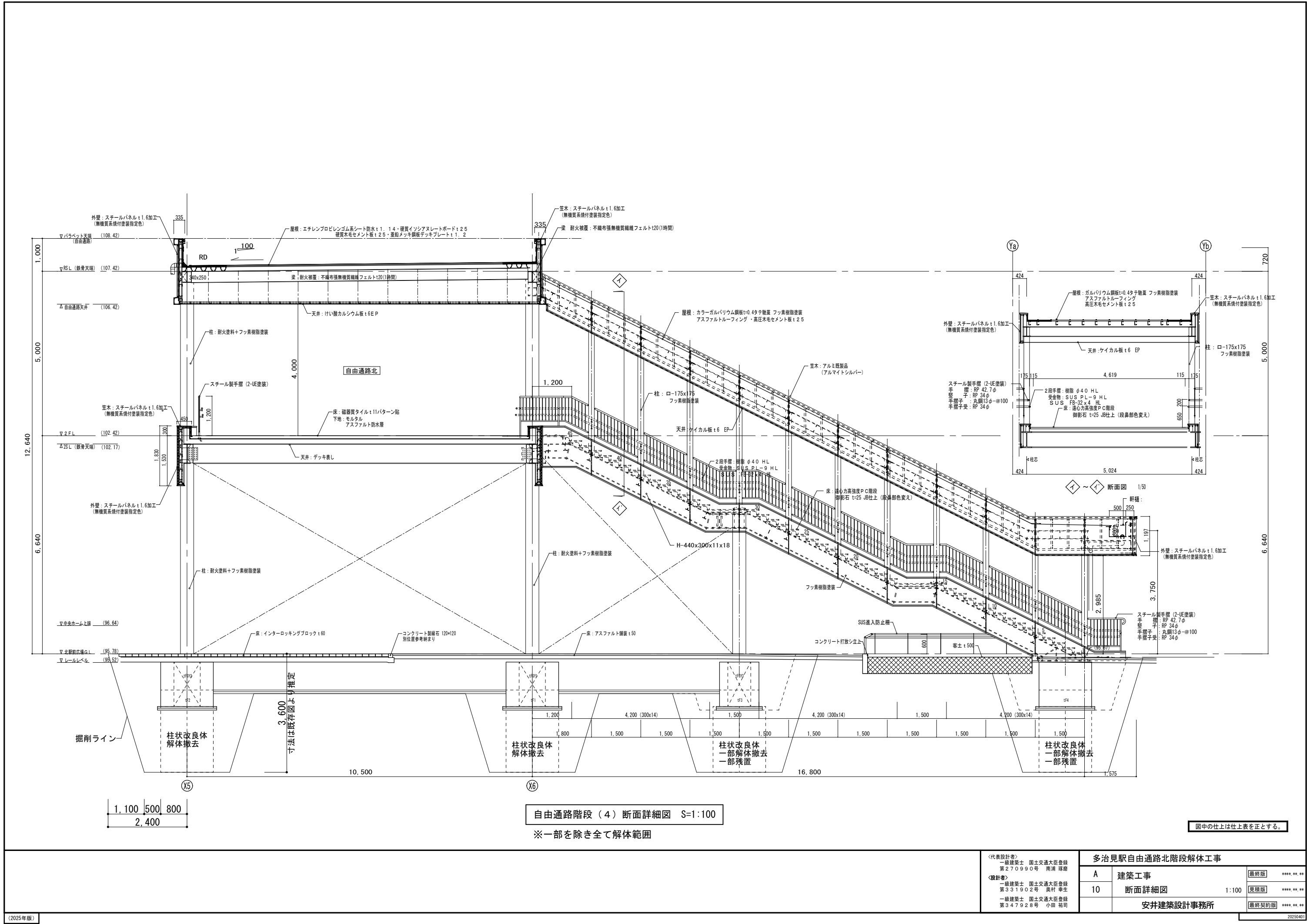
図中の仕上は仕上表を正とする。

凡例		凡例		凡例		凡例		凡例	
符号	仕上	符号	仕上	符号	仕上	符号	仕上	符号	仕上
イ	外壁1 アルミスパンドレル (フッ素焼付メタリック塗装指定色) +防水シート	ト	外壁7 スチールパネル t1.6加工 無機質系焼付塗装指定色	ワ	開口部2 アルミカーテンウォール 二次電解着色	ツ	軒天2 スチールパネル t1.6無機質系塗装指定色	ム	カラーガルバリウム鋼板タテハゼ
ロ	外壁2 アルミカットパネル t3.0 無機質系焼付塗装指定色	チ	外壁8 鉄骨部材表シ (フッ素樹脂塗装)	カ	開口部3 スチールドア フッ素樹脂焼付塗装指定色	ネ	庇 スチールパネル t1.6 (無機質系焼付塗装指定色)	ウ	SUS製手摺
ハ	外壁3 アルミリブ付きスパンドレル t1.5 (二次電解着色)	リ	外壁9 コンクリート打放仕上 (アクリルシリコン樹脂クリア塗装)	コ	開口部4 アルミ縦型防水ガラリ 二次電解着色	ナ	笠木 アルミ既製品 (一部部: アルミ既製品/自由通路部: 二次電解ブラック)	エ	メンテナンスデッキ
ニ	外壁4 押出成型セメント板 t60+タイル (H300*W300*t18) ビームハール工法	ス	外壁10 耐火塗料+フッ素樹脂塗装指定色	タ	開口部5 アルミガラリ 二次電解着色	セ	屋根1 エチレンプロピレンゴム系シート防水 +硬質イソシアヌレートボード t25 +硬質木毛セメント板 t25	オ	樋1 SUSφ100、φ150 HL
ホ	外壁5 押出成型セメント板 t60+タイル (H150*W500*t12) 新シュタルネット工法	ル	外部巾木 SUS t1.5 HL H=200	レ	開口部6 SUS製サッシ	シ	+垂鉛メッキ鋼板デッキ PL t1.2	ク	塞ぎ材 カラーガルバリウム鋼板 t0.4 (下地鉄骨)
ヘ	外壁6 押出成型セメント板 t60 吹付タイル指定色	ヲ	開口部1 アルミサッシ 二次電解着色	ソ	軒天1 アルミスパンドレル (無機質系焼付塗装指定色)	ジ		ヤ	タラップ (背カゴ付) SUS製

多治見駅自由通路北階段解体工事		最終版	
A 08	建築工事	最終版	***. **. **
	断面図	最終版	***. **. **
安井建築設計事務所		最終版	***. **. **



〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第270990号 南浦 琢磨 〈設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第331902号 奥村 幸生 一級建築士 国土交通大臣登録 第347928号 小田 祐司	多治見駅自由通路北階段解体工事	
A 09	建築工事	最終版 2025.09.09
	矩計図 1:100	見積版 2025.09.09
安井建築設計事務所		最終契約版 2025.09.09

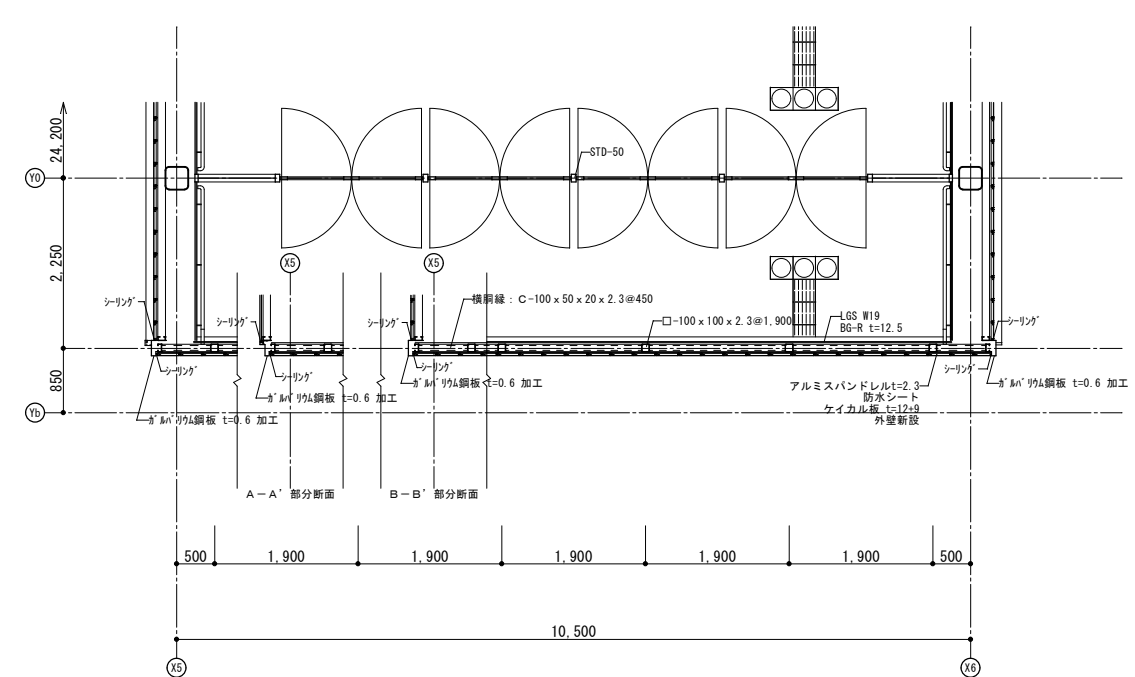
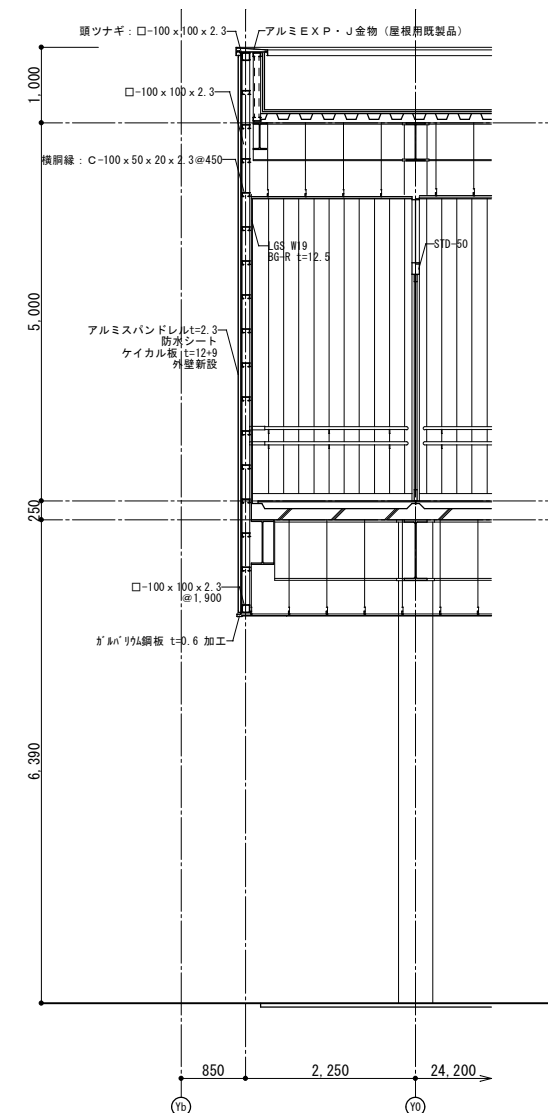
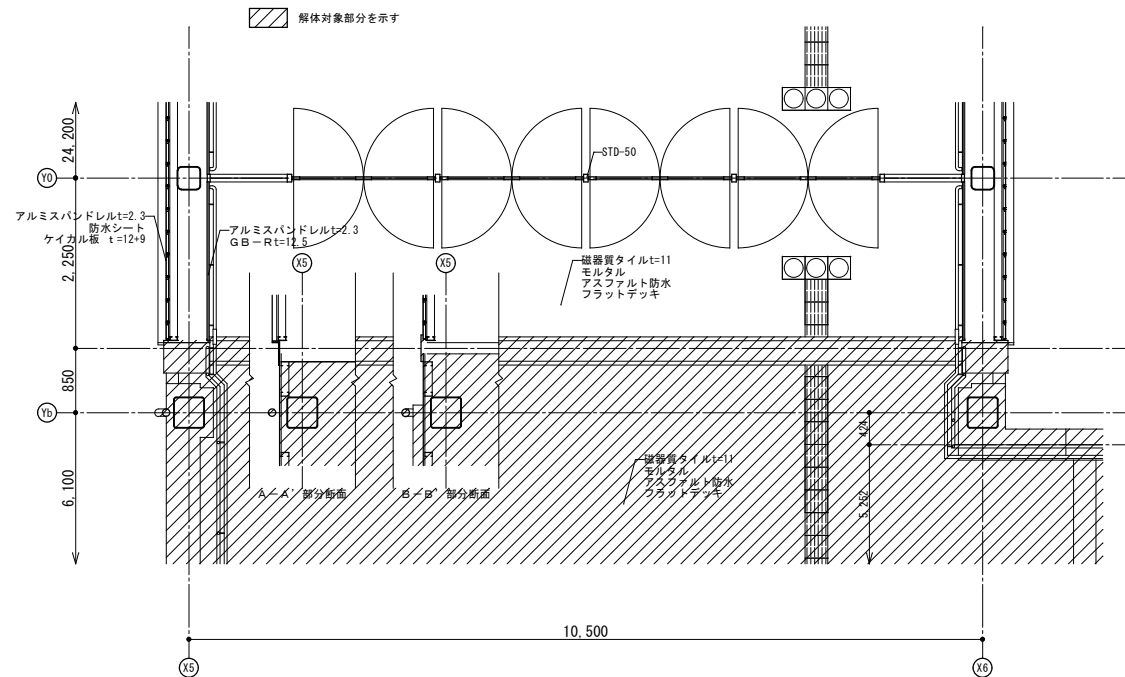
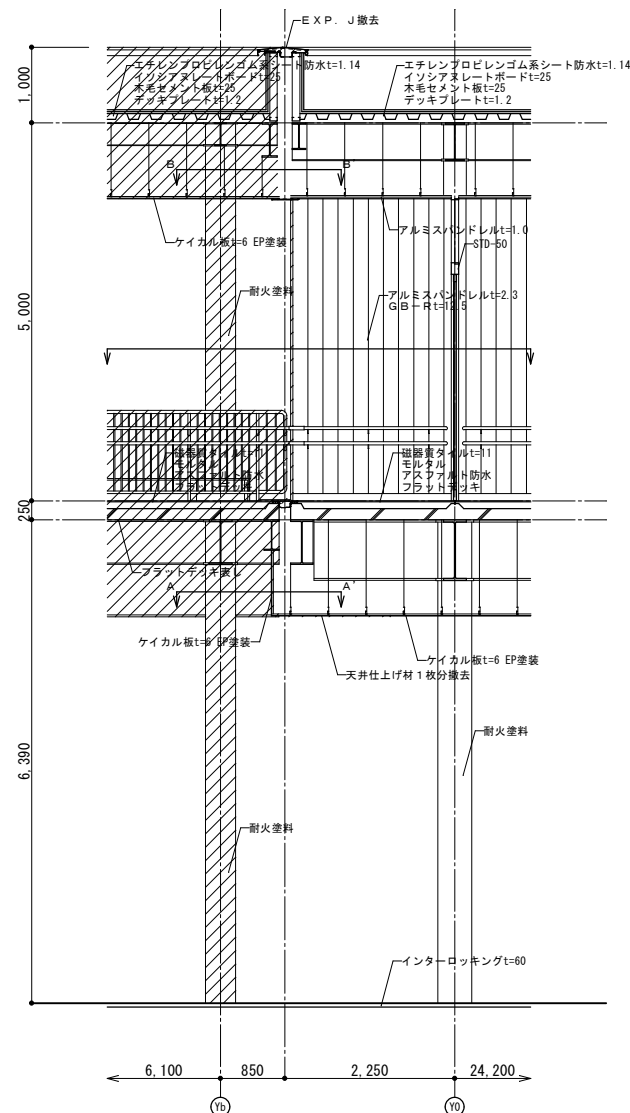


自由通路階段（４）断面詳細図 S=1:100

※一部を除き全解体範囲

図中の仕上は仕上表を正とする。

		＜代表設計者＞ 一級建築士 国土交通大臣登録 第270990号 南浦 琢磨 ＜設計者＞ 一級建築士 国土交通大臣登録 第331902号 奥村 幸生 一級建築士 国土交通大臣登録 第347928号 小田 祐司	多治見駅自由通路北階段解体工事				
			A	建築工事	最終版	****, **, **	
					見直し版	****, **, **	
			10	断面詳細図	1:100	見直し版	****, **, **
				安井建築設計事務所		最終契約版	****, **, **
(2025年版)		20250401					



排煙に対する検討
確認申請時の「法規チェック図」によると
STD-50のサッシは自然排煙の検討に入って
いない為、本計画に自然排煙の設備を設け
る必がは無いことを確認した

消防無窓階 開口面積の検討
 $STD-50 \quad 1.90 \times 3.00 \times 4.0 = 22.80 \text{ m}^2$
 必要開口面積に対する有効開口面積の余り 3.42 m^2
 $22.80 - 3.42 = 19.38 \text{ m}^2$
 駅南商業施設建設による出入口増設
 $1.60 \times 2.50 \times 4.0 = 16.00 \text{ m}^2$
 $1.40 \times 2.50 \times 1.0 = 3.50 \text{ m}^2$ 計 19.50 m^2
 $19.38 \leq 19.50 \dots \text{OK}$

〈代表設計者〉
一級建築士 国土交通大臣登録
第270990号 南浦 琢磨

〈設計者〉
一級建築士 国土交通大臣登録
第331902号 奥村 幸生
一級建築士 国土交通大臣登録
第347928号 小田 祐司

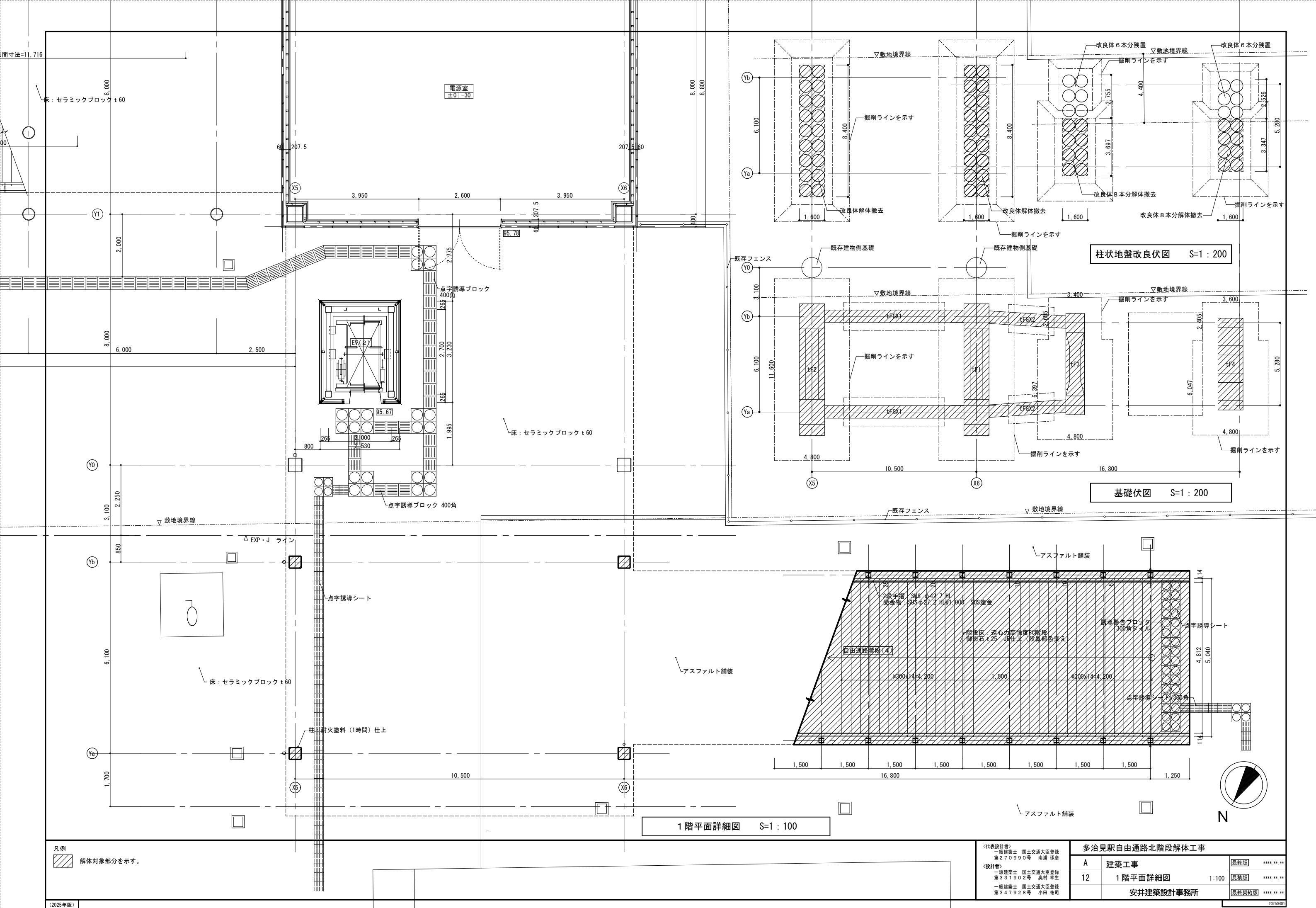
多治見駅自由通路北階段解体工事

A	建築工事
11	改修詳細

修詳細図 1:100

安井建築設計事務所

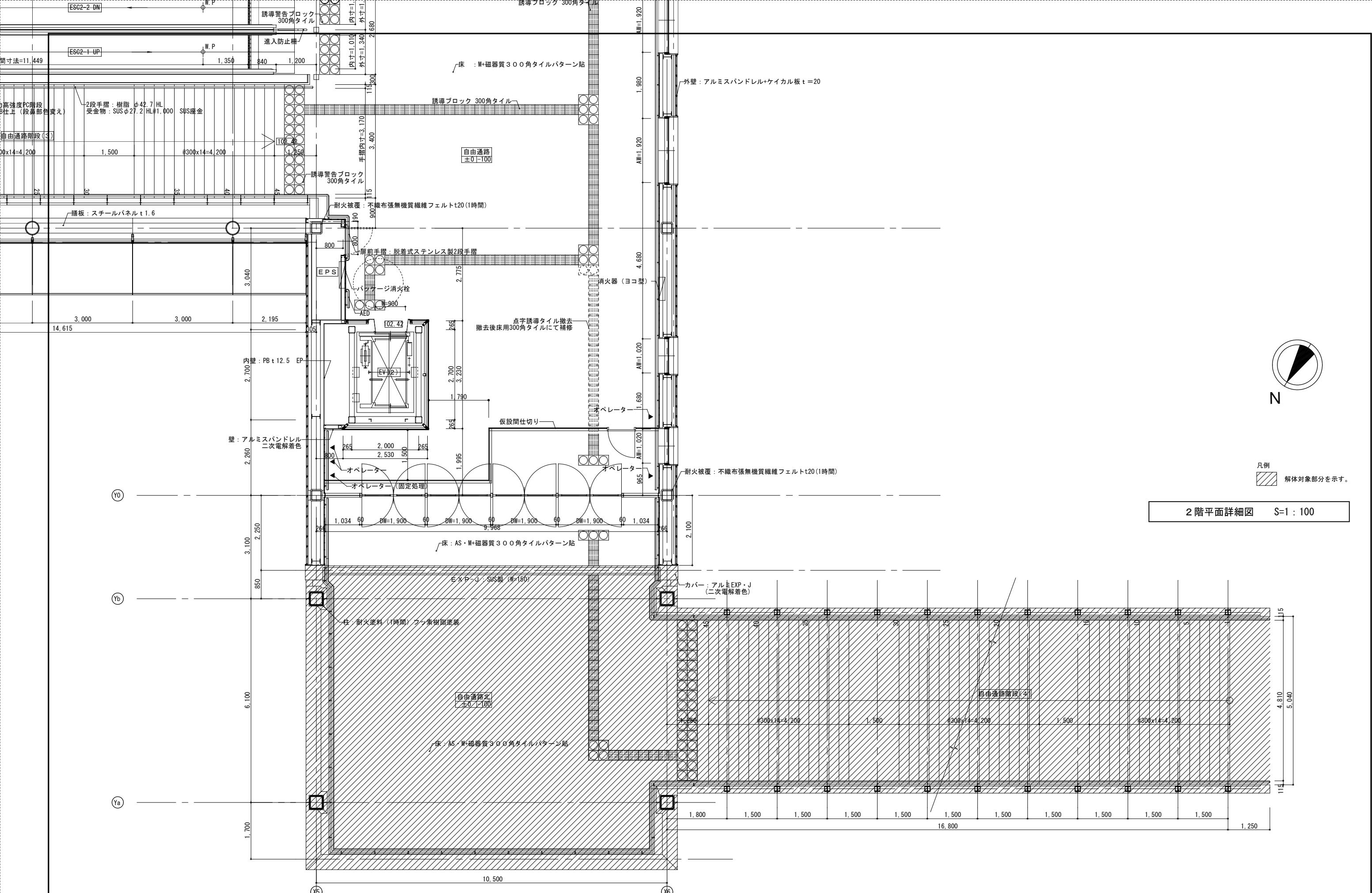
最終版	****, **, **
見積版	*****, **, **
最終契約版	****, **, **

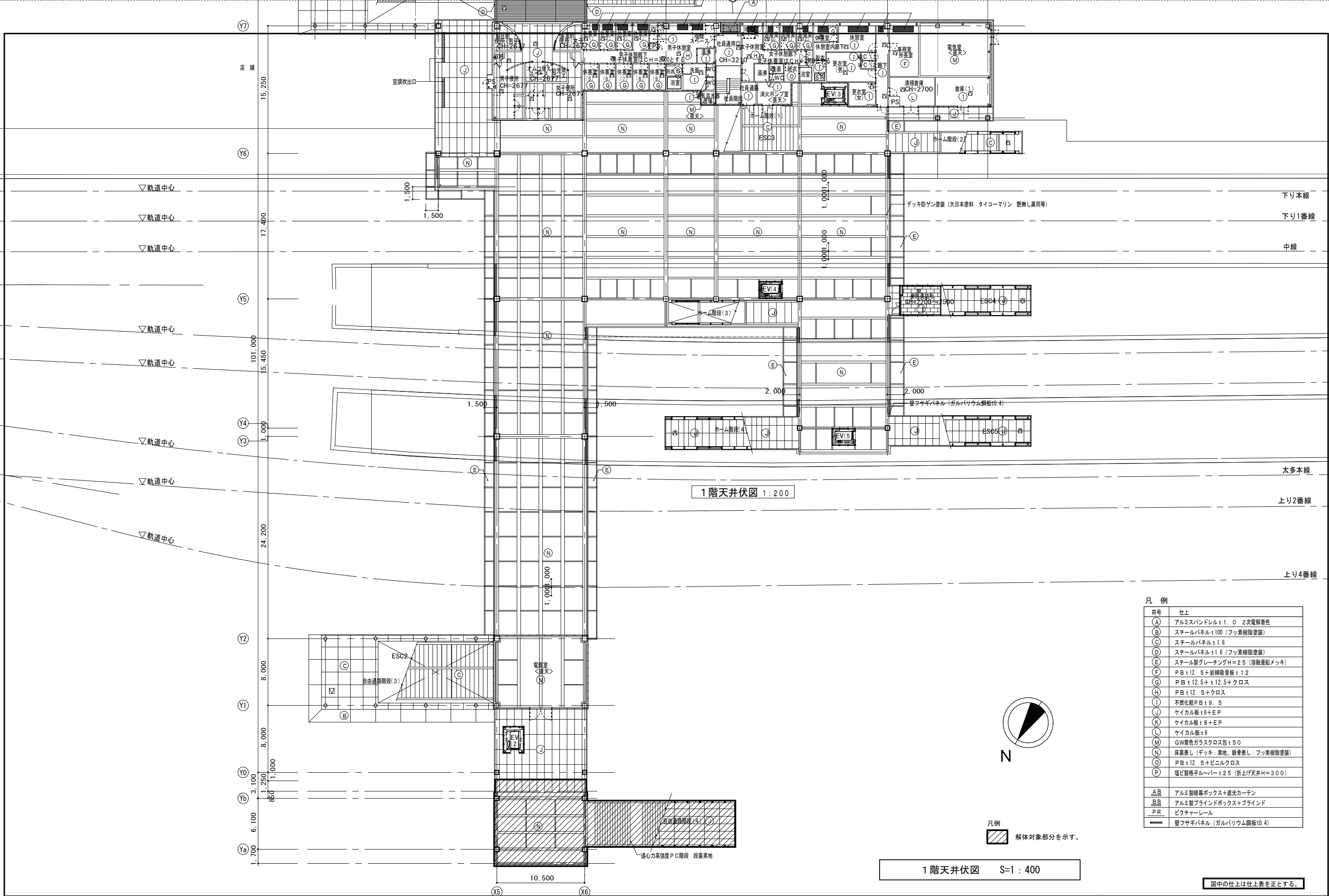


凡例
解体対象部分を示す。

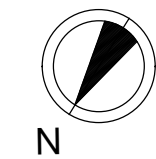
〈代表設計者〉
一級建築士 国土交通大臣登録
第270990号 南浦 琢磨
〈設計者〉
一級建築士 国土交通大臣登録
第331902号 奥村 幸生
一級建築士 国土交通大臣登録
第347928号 小田 祐司

多治見駅自由通路北階段解体工事			
A	建築工事	最終版	***, **, **
12	1階平面詳細図	1:100	見積版 ***, **, **
安井建築設計事務所		最終契約版	***, **, **





凡 例	
符号	仕上
(A)	アルミスパンデル t 1. 0 2次電解着色
(B)	スチールパネル t100 (フッ素樹脂塗装)
(C)	スチールパネル t 1. 6
(D)	スチールパネル t1. 6 (フッ素樹脂塗装)
(E)	スチール製グレーチング H=25 (溶融亜鉛メッキ)
(F)	P B t 12. 5+岩綿吸音板 t 12
(G)	P B t 12. 5+ t 12. 5+クロス
(H)	P B t 12. 5+クロス
(I)	不燃化粧 P B t 9. 5
(J)	ケイカル板 t 6+E P
(K)	ケイカル板 t 8+E P
(L)	ケイカル板 t 6
(M)	GW青色ガラスクロス包 t 50
(N)	床裏表し (デッキ: 素地、鉄骨表し: フッ素樹脂塗装)
(O)	P B t 12. 5+ビニルクロス
(P)	塩ビ製格子ルーバー t 2. 5 (折上げ天井 H=300)
△△	アルミ製暗幕ボックス+遮光カーテン
□□	アルミ製ブラインドボックス+ブラインド
—PR—	ビクチャーレール
——	壁フサギパネル (ガルバリウム鋼板 t0. 4)



凡例
解体対象部分を示す。

1 階天井伏図 S=1 : 400

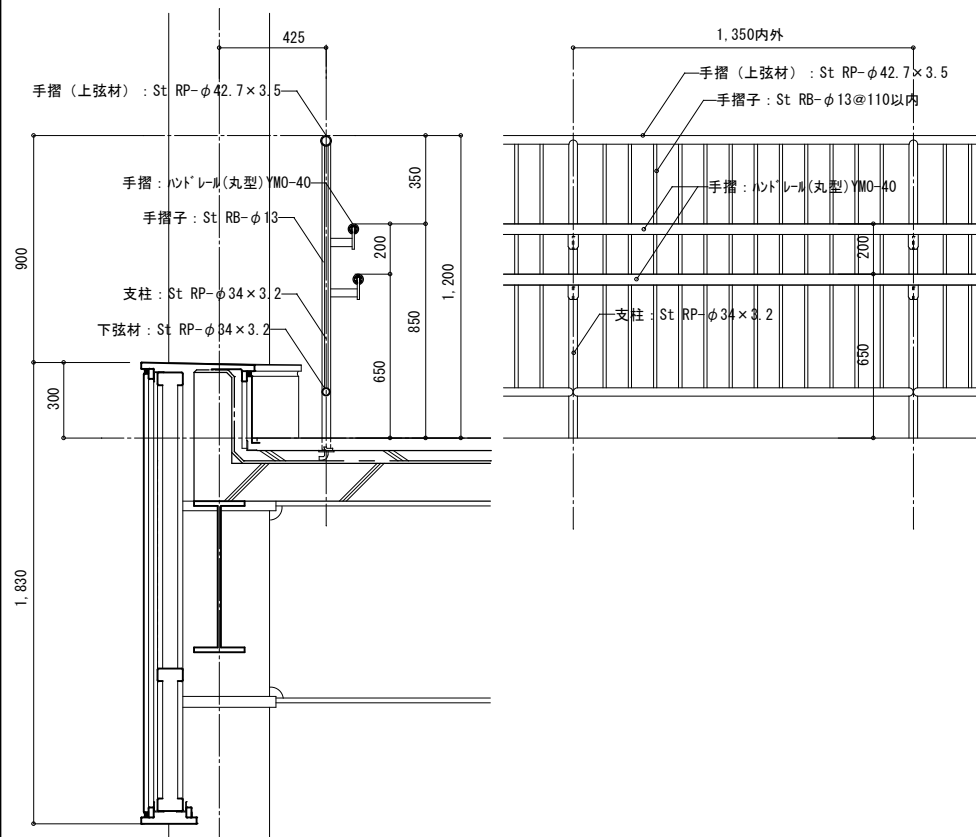
図中の仕上は仕上表を正とする。

		<代表設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第270990号 南浦 琢磨 <設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第331902号 奥村 幸生 一級建築士 国土交通大臣登録 第347928号 小田 祐司	多治見駅自由通路北階段解体工事				
			A	建築工事	最終版	***, **, **	
			14	1 階天井伏図	1:400	見直し版	***, **, **
			安井建築設計事務所			最終契約版	***, **, **
							2025.01

(2025年版)	
----------	--

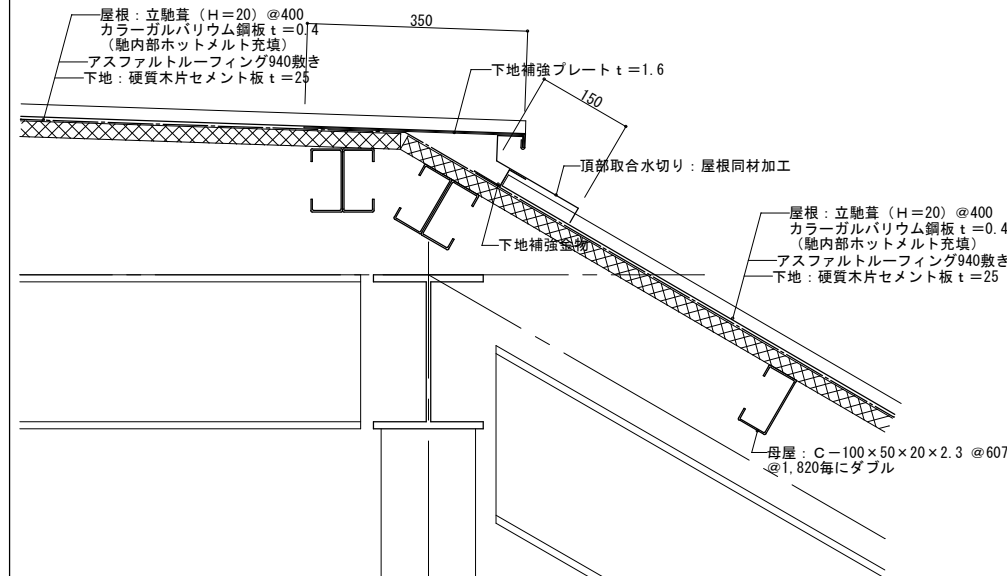
自由通路北 自立スチール手摺詳細図（既存解体部）

1:30



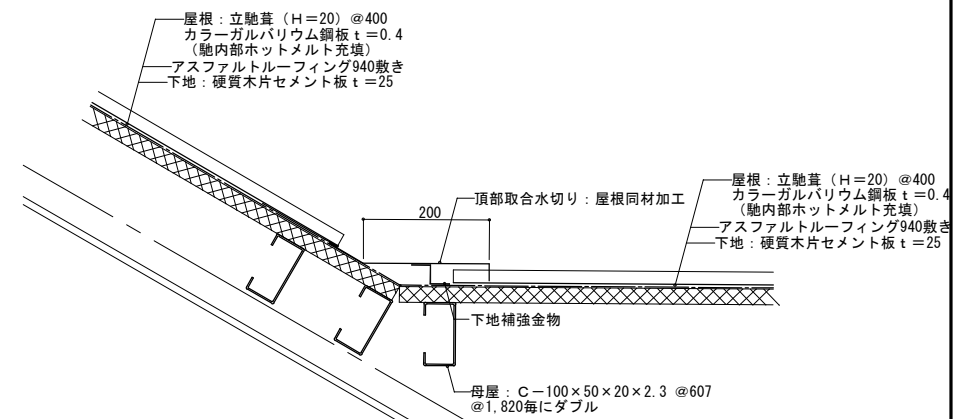
腰折れ部 詳細図 (既存解体部)

1:12



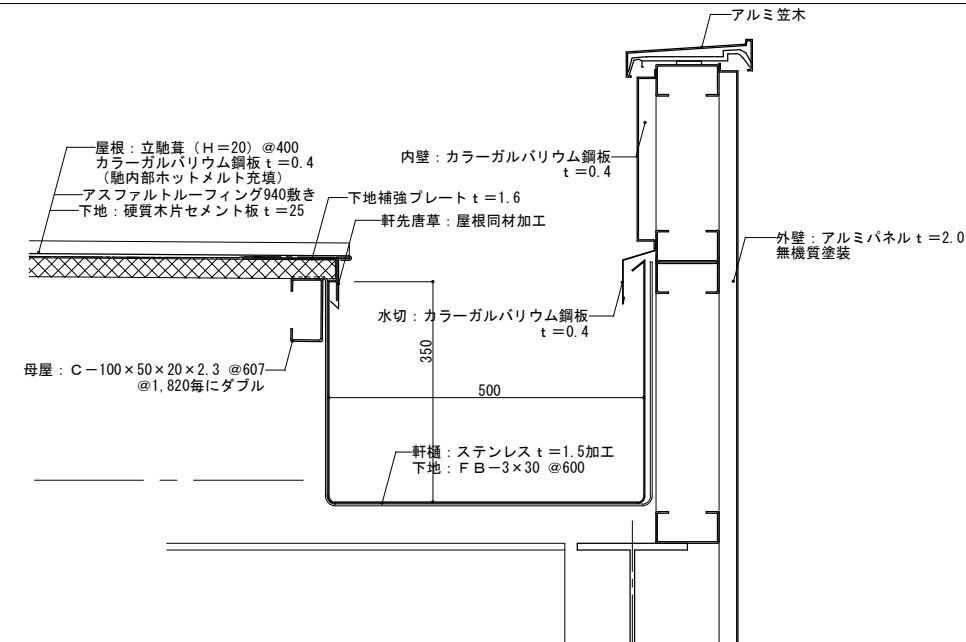
腰折れ部 詳細図 (既存解体部)

:12 |



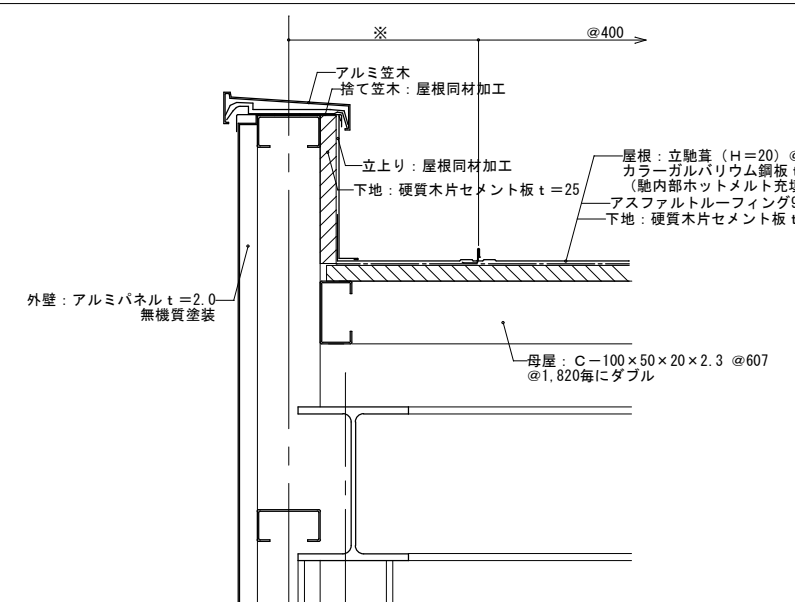
樋廻り 詳細図 (既存解体部)

1:12



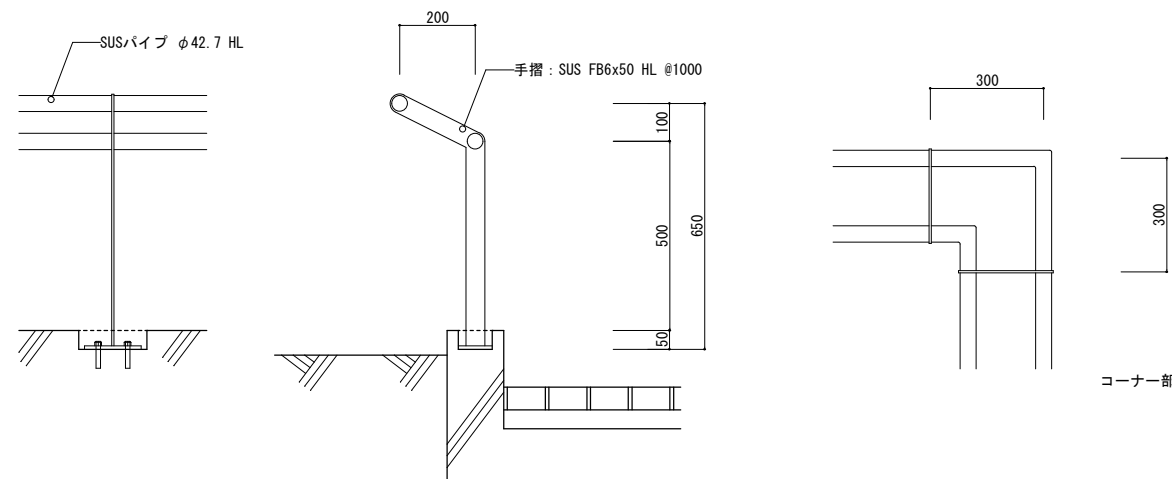
ケラバ 詳細図 (既存解体部)

:12



階段下侵入防止柵詳細（既存解体部）

20



コナ一部

〈代表設計者〉
一級建築士 国土交通大臣登録
第270990号 南浦 琢磨

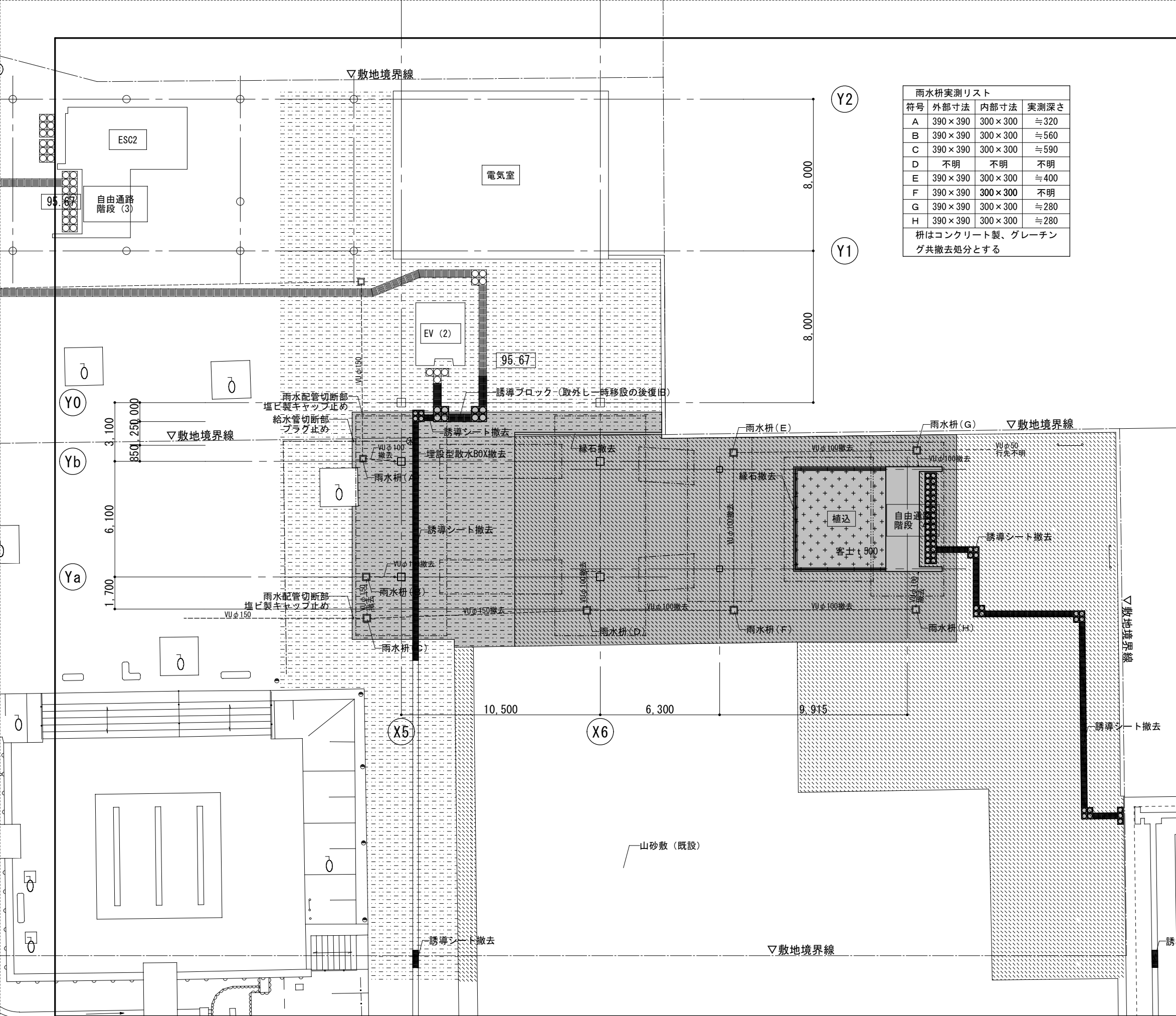
〈設計者〉
一級建築士 国土交通大臣登録
第331902号 奥村 幸生
一級建築士 国土交通大臣登録
第347928号 小田 祐司

多治見駅自由通路北階段解体工事

A	建築工事	最
17	部分詳細図 (2)	1:20, 1:12 最

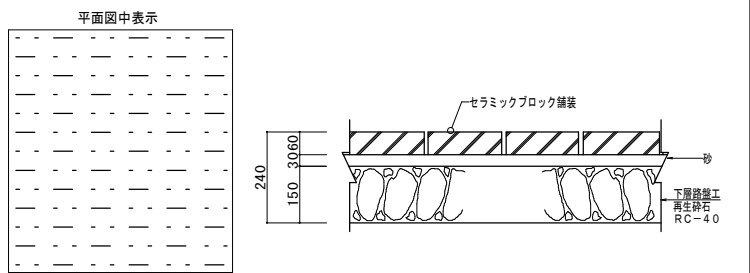
安井建築設計事務所

終版	****. **.
積版	****. **.
終契約版	****. **.

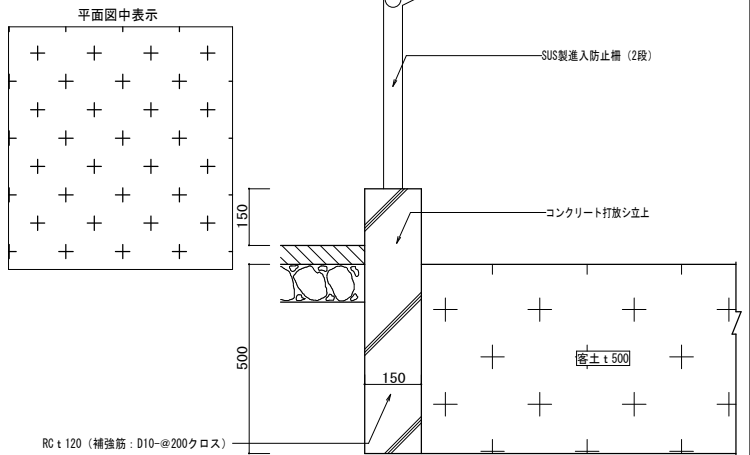


雨水枡実測リスト			
符号	外部寸法	内部寸法	実測深さ
A	390×390	300×300	≒320
B	390×390	300×300	≒560
C	390×390	300×300	≒590
D	不明	不明	不明
E	390×390	300×300	≒400
F	390×390	300×300	不明
G	390×390	300×300	≒280
H	390×390	300×300	≒280
枡はコンクリート製、グレーチング共撤去処分とする			

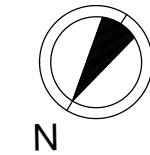
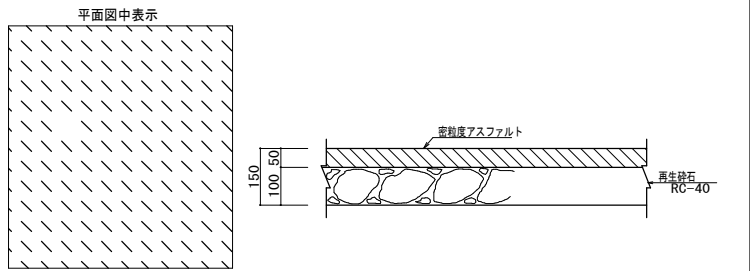
セラミックブロック舗装詳細図 1:20



植込み詳細図 1:20



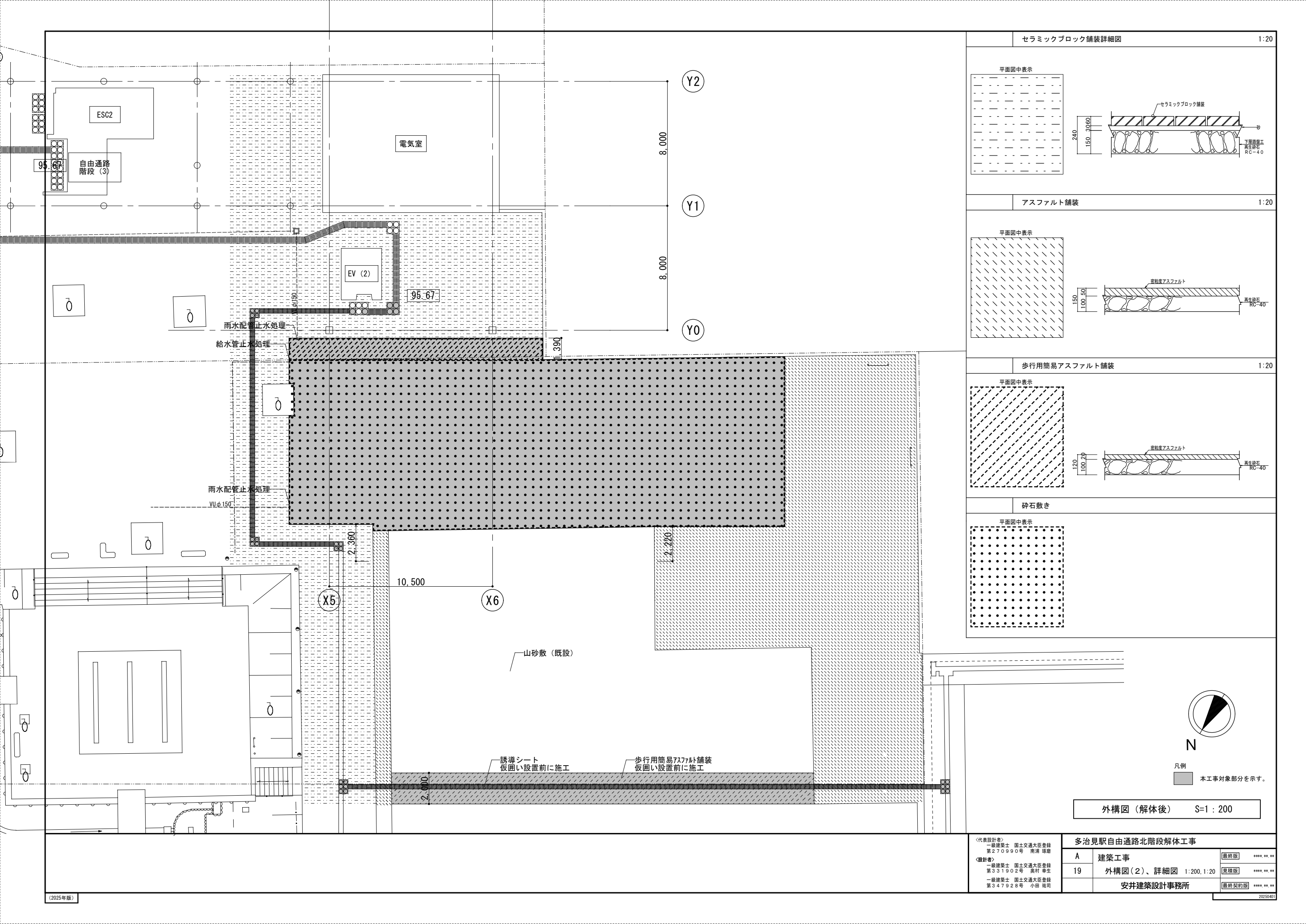
アスファルト舗装 1:20



凡例
■ 解体対象部分を示す。
□ 掘削部分を示す。

外構図（解体前） S=1：200

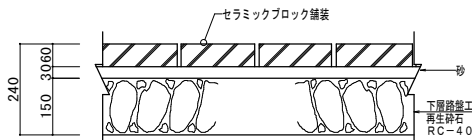
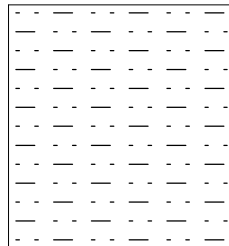
多治見駅自由通路北階段解体工事			
代表設計者 一級建築士 国土交通大臣登録 第270990号 南浦 琢磨	A	建築工事	最終版 2025.08.08
設計者 一級建築士 国土交通大臣登録 第331902号 奥村 幸生 一級建築士 国土交通大臣登録 第347928号 小田 祐司	18	外構図(1)、詳細図 1:200, 1:20	見直し版 2025.08.08
		安井建築設計事務所	最終契約版 2025.08.08



セラミックブロック舗装詳細図

1:20

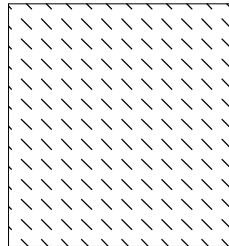
平面図中表示



アスファルト舗装

1:20

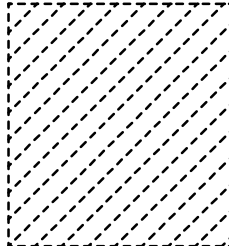
平面図中表示



歩行用簡易アスファルト舗装

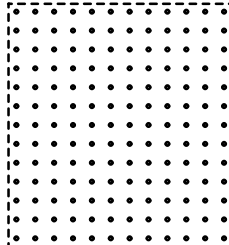
1:20

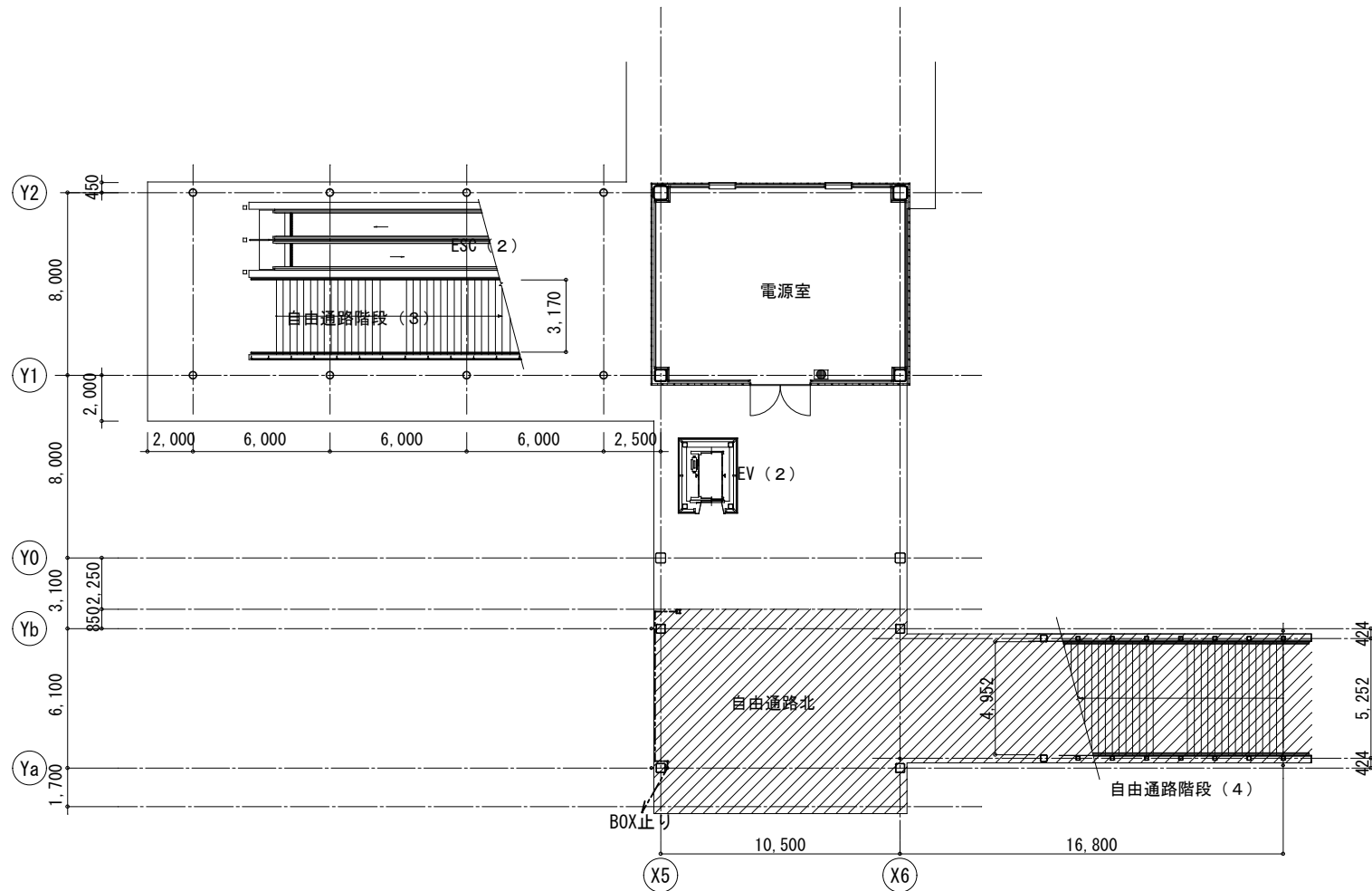
平面図中表示



砕石敷き

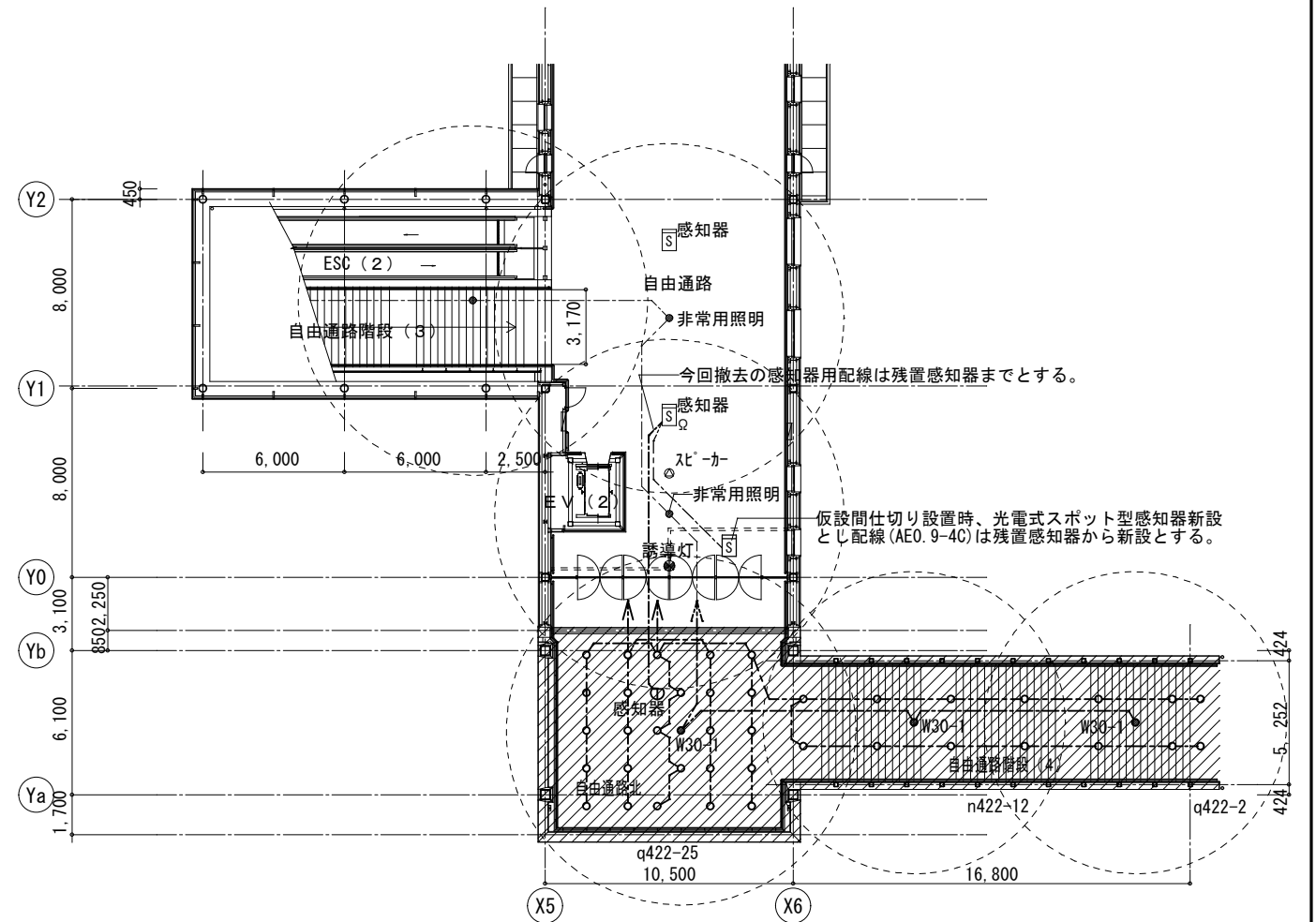
平面図中表示





凡例
解体対象部分を示す。

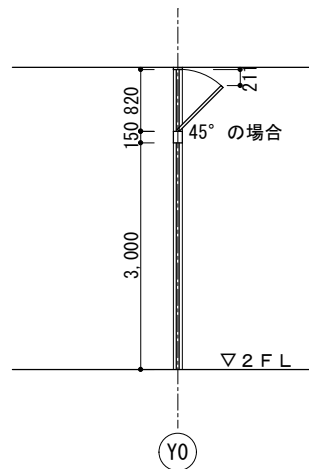
1階電気設備図 S=1:300



※照明器具撤去後の配線は、残置建物の天井裏にて絶縁処理を
施し、結束・固定の上、整理して残置すること

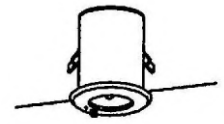
凡例
解体対象部分を示す。

2階電気設備図 S=1:300



アルミ製建具断面図 S=1:100



n 4 2 2 蛍光灯 ダウンライト 傾斜天井	q 4 2 2 蛍光灯 軒下ダウンライト 多灯式	W 3 0 非常用照明ダウンライト
		
FHT 4 2 W × 2 埋込穴 φ 2 5 0 埋込高 H = 2 8 2 12箇所撤去	FHT 4 2 W × 2 埋込穴 φ 2 5 0 埋込高 H = 2 9 2 27箇所撤去	JD 3 0 W 専用型 K 1 - I R S 4 - J E 3 0 3箇所撤去

仮設間仕切り内が無警戒となる為、光電式スポット型感知器の設置は絶対条件となる。
出入口建具排煙窓が開いた状態で見付200mm以上開けば、二室を一室をみなす事が可能となる。
※幅は全副の6割以上

多治見駅自由通路北階段解体工事			
A 20	建築工事	最終版	***, **
	1・2階電気設備図 1:300	見積版	***, **
安井建築設計事務所		最終契約版	***, **